



地区館事業

[指定管理者 (財) 仙台ひと・まち交流財団による事業]

1. 市民センター事業（地区館）の実施体制

仙台市の市民センター59館は、管理運営を指定管理者である(財)仙台ひと・まち交流財団が行っている。また、地域における生涯学習事業についても各地区館の事業実施方針に沿って、それぞれ地域の状況や課題にあうさまざまな事業(地区館事業)を指定管理事業として年間を通じて実施している。

【平成19年度 事業区分別事業数（地区館事業）】

(※)2つ以上の市民センター間で共催・連携した事業は1事業として計上

	青葉区	宮城野区	若林区	太白区	泉区	合計
家庭教育推進事業	47	28	14	38	41	168
青少年健全育成事業	50	30	23	40	46	189
成人学習振興事業	62	53	17	44	59	235
高齢者学習振興事業	38	18	14	33	25	128
地域社会教育推進事業	139	66	55	107	101	468
民間指導者育成事業	58	26	25	43	26	178
学習情報提供・ 学習相談事業	64	37	27	45	52	225
合計	458	258	175	350	350	1,591

2. 各市民センターの事業（地区館事業）

<青葉区(17館)>

青葉区中央市民センター
 柏木市民センター
 広瀬市民センター
 宮城西市民センター
 北山市民センター
 福沢市民センター
 旭ヶ丘市民センター
 三本松市民センター
 片平市民センター
 大沢市民センター
 水の森市民センター
 貝ヶ森市民センター
 落合市民センター
 中山市民センター
 折立市民センター
 吉成市民センター
 木町通市民センター

<宮城野区(9館)>

中央市民センター
 高砂市民センター
 岩切市民センター
 鶴ヶ谷市民センター
 榴ヶ岡市民センター
 東部市民センター
 幸町市民センター
 田子市民センター
 福室市民センター

<若林区(6館)>

若林区中央市民センター
 七郷市民センター
 荒町市民センター
 六郷市民センター
 若林市民センター
 沖野市民センター

<太白区(14館)>

太白区中央市民センター
 中田市民センター
 生出市民センター
 秋保市民センター
 馬場市民センター
 湯元市民センター
 西多賀市民センター
 八本松市民センター
 八木山市民センター
 山田市民センター
 茂庭台市民センター
 東中田市民センター
 柳生市民センター
 富沢市民センター

<泉区(13館)>

泉区中央市民センター
 根白石市民センター
 南光台市民センター
 黒松市民センター
 将監市民センター
 加茂市民センター
 高森市民センター
 松陵市民センター
 寺岡市民センター
 長命ヶ丘市民センター
 松森市民センター
 桂市民センター
 南中山市民センター

青葉区中央市民センター

沿 革

昭和 61 年の市立東二番丁小学校の全面改築に伴い「仙台市市民教養センター」が廃止され、昭和 63 年 1 月に「仙台市中央公民館一番町分館」が開館。平成 13 年 4 月、隣接の「アスピーアー番町(勤労青少年ホーム)」を統合し、新しく「青葉区中央市民センター」としてスタートした。
市の中心地域で交通の利便性が高い立地から、若い世代の利用率も高い。外国人も集まりやすいため、日本語講座を開催するなど国際交流の場としても一役を担っている。

平成 19 年度事業実施方針

①体験学習活動を取り入れたプログラムや、学社連携事業による家庭教育・青少年育成事業の推進、②嘱託社会教育主事連絡協議会との連携事業の推進、③市民協働・参画事業の推進、④夜間講座や託児付講座、手話・要約筆記講座等の充実 などを重点施策と位置づけ、生涯学習事業の推進に努める。

特色ある事業

<仙台まちなみ 紙芝居をつくろう>

① ねらい

先人から受け継ぐ貴重な資料として仙台の街並みの移り変わりを紙芝居として残す。その作成過程において近隣の中・高・大学等にも呼びかけ、地域への愛着と世代間交流を進める。

② 対象 中学生以上

③ コマ数, 参加延べ人数 17 回 / 224 人

④ 概要

はじめに昭和初期から昭和50年代にかけての一番町境界の話を聴き、それを基に作り方やストーリーなど紙芝居についての理解をふまえて作成。なお、この作品は平成 19 年度宮城県自作視聴覚教材コンクールに出場し「奨励賞」を受賞した。

<まちなか防災マップをつくろう>

① ねらい

街なかの住民、買い物に来る人々の防災に対する意識を高め、安心して過ごせるまちづくりを目指す。また、マップづくりを通して、共同で行える防災のあり方を探り、お互いに助け合える関係づくりの場を提供する。

② 対象 成人

③ コマ数, 参加延べ人数 8 回 / 41 人

④ 概要

はじめに、災害に備えるためにはどのようなことができるのかを考えた。その後マップ作成にあたっての基本的なことを学び、範囲を決めてタウンウォッチングを行い情報収集にあたった。収集した情報を基にマップを作成。窓口に配置し、利用者に提供している。

【平成 19 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
2	6	6	0	5	4	5

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/aochu/index.html>

柏木市民センター

沿 革

当市民センターは昭和61年7月に旧仙台女子高等学校の校舎を改修し、中央公民館柏木分館として開館した。平成元年の政令指定都市移行とともに、「柏木公民館・市民センター」として独立、そして平成2年には名称を「柏木市民センター」とした。その後、施設の老朽化のため平成7年4月から一時休館して改修工事を行い、平成10年4月にコミュニティ防災センターを併設した複合施設として新たに開館した。

施設の特徴としては収納式のステージを持つ多目的ホール、会議室、和室等に加え、広いロビーがあり、地域住民の学習・スポーツ・交流の場として活用されている。

平成19年度事業実施方針

伝統的な町並みが残り高齢化が進む一方で、最近では徐々に高層住宅も増え新規の転入者や学生等の単身居住者の増加も続いている。市街地ということもあり、土日や夜間開催の事業も多く実施してきた。今後は更に地域各種団体との連携を強め、地域の核となるセンター運営に取り組んでいきたい。

特色ある事業

<懐かしの学校へ行こう>

① ねらい

中学校と連携し、学校教育及び地域の生涯学習の推進を図る。また地域に根ざす市民センターづくりをすすめる。

② 対象 成人

③ コマ数, 参加延べ人数 8回 / 100人

④ 概要

授業の一環である選択授業を各コースごとに分かれて教室内で生徒と一緒に勉強する。1コース4回を年2回実施。

<市民企画会議「ウェルカム」>

① ねらい

仙台に転入してきた人たちが地域を知る機会と新しい友人を作る場を提供するための講座「ようこそ仙台へ」の企画をする事で企画参加者同士の交流を深める。

② 対象 成人

③ コマ数, 参加延べ人数 10回 / 37人

④ 概要

前年度の「ようこそ仙台へ」の受講生が自らの経験を活かし、転入者にとって必要なことや仙台について知りたいことなどを討議する。

【平成19年度 事業数】

家庭教育推進事業	青少年健全育成事業	成人学習振興事業	高齢者学習振興事業	地域社会教育推進事業	民間指導者育成事業	学習情報提供学習相談事業
3	2	1	3	7	5	5

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/kasiwagi/index.html>

広瀬市民センター

沿 革

当市民センターは、広瀬川の中流域に位置し、周辺にはサイカチ沼や月山池、蕃山などの豊かな自然と、子愛観音をはじめとする数多くの旧跡が残る。また、近年は住宅の造成や商業地域の開発が進み、人口が著しく増加している地域である。

当市民センターの歴史は古く、昭和24年大沢・広瀬両村に村立公民館が建設されたことに始まる。昭和62年仙台市との合併により仙台市宮城公民館となり、条例改正により仙台宮城市民センターと改称、平成3年6月に名称を広瀬市民センターと改めて現在の庁舎に移転した。

施設は、広瀬文化センター・広瀬図書館との複合施設で、地域住民の交流と生涯学習活動の拠点として広く親しまれ利用されている。

平成19年度事業実施方針

1. 地域住民のライフステージに応じた諸課題や社会問題などを取り上げ講座に反映させる。
2. 生涯学習情報や地域情報を収集し、館内掲示や市民センターだよりで情報提供を図る。
3. 民間指導者や育成団体を支援し、学習成果を地域に活かす人材の育成につとめる。
4. 地域の豊かな自然や豊富な人材を活用し、地域交流を拡大充実させる事業展開をする。
5. 講座受講生、地域の個人、団体からのニーズを把握し、事業内容の充実向上に結びつける。

特色ある事業

<夏の思い出☆子ども体験講座～昔の子どもと遊ぶ・川遊び編～>

① **ねらい**
 愛子に残る豊かな自然を活用し、地域の子どもたちが地域の大人と「昔の子どもの遊び」を体験学習することにより、自分たちが住む地域について関心を持つようになる。地元の自然を再確認し、自然との共生や環境保全についても考える。

② **対象** 小学生

③ **コマ数, 参加延べ人数** 3回 / 48人

④ **概要**
 地域の小学生が、「再発見、ひろせの底力」の市民企画員が中心となった地域の大人と一緒に、サイカチ川で川遊びを体験しながら、周辺の生き物や植物などを観察し、自然を活用した昔ながらの遊びを学んだ。

<市民企画講座「まつりの写真展」～カメラを持って“まつり”に行こう！～>

① **ねらい**
 地域内で開催される「夏祭り」の様子を写真に撮り、市民センターまつりで展示するという市民参加型の動機付けをすることにより、地域住民が「夏祭り」を通して地域の姿やその歴史についての理解を深めるようになると共に、住民同士の交流も実現する。

② **対象** 地域の方どなたでも

③ **コマ数, 参加延べ人数** 27回 / 148人

④ **概要**
 地域から14箇所の町内会夏祭りと神社や不動尊などのまつり取材記録し、写真は「まつりの写真展」として広瀬市民センターまつりや宮城総合支所で展示した。さらに、白滝・黒滝不動尊を守る地域住民から話を聞く会を開いた。

【平成19年度 事業数】

家庭教育推進事業	青少年健全育成事業	成人学習振興事業	高齢者学習振興事業	地域社会教育推進事業	民間指導者育成事業	学習情報提供学習相談事業
2	3	1	1	15	5	5

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/hirose/index.html>

宮城西市民センター

沿 革

昭和 52 年 4 月に宮城町西部地区公民館として開館した。その後、昭和 62 年 11 月 1 日宮城町が仙台市と合併して仙台市宮城西公民館となり、平成 2 年 4 月 1 日から仙台市宮城西市民センターと改称した。当市民センターは、宮城地区西部の自然環境に恵まれた緑豊かな山間地に位置している。近年過疎化が進み、少子・高齢化の現状にあるが地域の活性化を図るため町内会・老人クラブ等の各種団体と連携を密にして社会情勢の変化に伴う学習要望に応え、地域住民と共に歩む生涯学習を推進している。また、地域住民の自主活動の場、交流の場として広く利用されている。

平成 19 年度事業実施方針

地域活性化・地域交流を図るため、当地域の恵まれた自然と豊かな人材を活用した体験学習を多く開設する。また学んだ成果を地域に還元したり、地域間連携を深めるなど市民の学習意欲と参加意欲を促す事に繋げる。そして様々な情報を発信し地域への関心を高め、課題に対応した事業と地域人材発掘・地域ネットワークづくりに重点をおいた事業展開に努める。

特色ある事業

<市民企画講座「宮城西探訪」>

- ① **ねらい**
管内の史跡、民族、自然など調査・探検しながら地域の見直しを図る。
市民の企画運営により、市民自らの学習意欲を高め、調査記録で学習成果を残すことで地域活性化に繋げる。
- ② **対象** 成人 10人
- ③ **コマ数, 参加延べ人数** 19回 /166人
- ④ **概要**
企画会議数回、学習テーマを決める。捻木道・駒新道など古道を探る。
テーマに沿って参加者と、調査・探訪し記録する。
学習のまとめとし地図の作成・「宮城西紀行」を発行

<出前講座～大倉・西川前・新川・作並へ～>

- ① **ねらい**
交通手段に恵まれない地域住民に、生涯学習活動の振興と生活文化の向上を図るため、こちらから出向いて学習の場を提供する。
- ② **対象** 成人・高齢者
- ③ **コマ数, 参加延べ人数** 8回 /161人
- ④ **概要**
出前講座希望地域が、市民センターと企画協議し、会場設定、講座内容、参加者募集までを担いながら学習する。健康に関する事・食生活改善・生活文化の向上に関する事など。

【平成 19 年度 事業数】

家庭教育推進事業	青少年健全育成事業	成人学習振興事業	高齢者学習振興事業	地域社会教育推進事業	民間指導者育成事業	学習情報提供学習相談事業
3	3	8	2	5	1	4

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/miyaginisi/index.html>

北山市民センター

沿 革

社会福祉活動の場がほしいという地域住民の願いがかない、北山福祉会館が設置されたのが昭和 49 年 7 月である(所管は仙台市社会福祉協議会)。平成元年の政令指定都市移行に伴い「北山市民センター・公民館」に、平成 2 年には「北山市民センター」と名称を改め、地域の生涯学習の拠点としての機能を果たしている。

地域内には、青葉神社や大崎八幡神社、北山五山などの神社仏閣があり、歴史的・文化的資源や緑に恵まれている。また、東北福祉大学や東北大学国際交流会館があるため若者や外国人が多く福祉や国際理解への関心が高い。

平成 19 年度事業実施方針

地域コミュニティの活性化を目的に、地域との関係を深め、且つ開かれた市民センターを目指して、地域に密着した事業を展開し、ボランティア育成や地域人材の発掘を通して地域活性化を図ると共に、育児世代・青少年世代・壮年世代・高齢世代の地域連携・協働による事業実施に努める。

特色ある事業

- ＜中学校連携事業＞
- ① **ねらい**
地域人材を活用した体験学習の提供等を通して、学校と地域住民・地域機関の関係づくりを促進し、青少年健全育成と豊かな人間形成を育てる環境づくりを図る。
 - ② **対象** 三条中学校生徒、地域住民
 - ③ **コマ数、参加延べ人数** 13 回 / 1664 人
 - ④ **概要**
選択授業の講師紹介で書道・ビーズ作りを学習。地元講師による食育講座やエコ講座、国際交流会館の外国人留学生による国際理解授業、シルバースクール・町内会参加の給食会での世代間交流。地域保育園での赤ちゃん抱っこ授業。
- ＜音楽とお国料理で国際交流＞
- ① **ねらい**
国際交流会館があり外国人が多い環境により地域住民の国際理解度・関心度も高い。文化交流を図ることで相互理解を深め、コミュニティの活性化に繋げる。
 - ② **対象** 外国人留学生、地域住民
 - ③ **コマ数、参加延べ人数** 2 回 / 135 人
 - ④ **概要**
1 回目はコンサート。インドネシア・モンゴル・ネパールの方の踊りと民俗楽器演奏、日本からは沖縄民謡と和楽器演奏。2回目は、餅つき体験と参加外国人のお国料理試食をする交流茶話会。

【平成 19 年度 事業数】

家庭教育推進事業	青少年健全育成事業	成人学習振興事業	高齢者学習振興事業	地域社会教育推進事業	民間指導者育成事業	学習情報提供学習相談事業
3	4	0	3	9	4	2

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/kitayama/index.html>

福沢市民センター

沿 革

昭和 59 年 6 月 9 日、コミュニティ防災センターを併設し「福沢公民館」として開館した。その後、平成元年 4 月に「福沢市民センター・公民館」、平成 2 年 4 月に「仙台市福沢市民センター」と名称を改めた。

当センターの地域内は、東照宮の門前町として栄えた宮町を中心とした昔の面影を今に留める古い歴史のまちである。一方、仙台駅から近い距離にあるため、単身者が多く住む新旧混在地区でもある。このような地域の特性を活かしながら、生涯学習事業を展開している。

平成 19 年度事業実施方針

「地域に根ざした市民センター」を目標に地域住民・諸団体との連携を強化し、地域コミュニティの活性化を推進する。さらに、地域のニーズを積極的に把握し、地域人材の活用と育成を行いながら、多様な学習ニーズに即応した講座を展開する。

特色ある事業

<市民企画講座「食について考えよう！」>

- ① **ねらい**
歴史ある地域(宮町・福沢町)に伝わる「食」の魅力を若い世代から高齢者まで地域に伝え、地域の「食」の知恵を共有し継承する。
- ② **対象** 成人
- ③ **コマ数, 参加延べ人数** 3 回 / 52 人
- ④ **概要**
(ア) 講話・実技: 地域に伝わる郷土おやつ「雁月」作り
(イ) 講話: 発酵食品の魅力と食の安全について
(ウ) 実技: 地域の味噌工場見学

<暮らしやすい住まいをつくる>

- ① **ねらい**
家庭で暮らしやすい住宅環境を保つための修理・修繕を学び、その技術を習得する。
- ② **対象** 成人
- ③ **コマ数, 参加延べ人数** 5 回 / 66 人
- ④ **概要**
パート1 講話: 「快適な住まいづくり」「地震に対する小さな備え」
「日本家屋の魅力について」
パート2 実技: 「障子貼り」「家庭の整理・整頓」

【平成 19 年度 事業数】

家庭教育推進事業	青少年健全育成事業	成人学習振興事業	高齢者学習振興事業	地域社会教育推進事業	民間指導者育成事業	学習情報提供学習相談事業
3	3	3	4	9	3	4

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/fukuzawa/index.html>

旭ヶ丘市民センター

沿 革

当市民センターは、地下鉄南北線建設事業の一環として、昭和60年6月に建設された旭ヶ丘バス乗継ターミナルとの複合施設として開館した。青葉区のみならず周辺地域へのアクセス拠点としての役割を担う地域へと変貌を遂げた。当市民センターは地域内にとどまらず広いエリアの市民が、様々な学習活動に利用している。また、近隣には青年文化センターや科学館があり、仙台市の文化学術エリアとなっている。旭ヶ丘駅の西側には台原森林公園が広がり、四季折々の草花が咲き乱れるなど自然環境にも恵まれ、多くの市民の憩いの場として愛されている。このように恵まれた場所に位置していることを踏まえ、地域性を生かし、かつ全市を視野に入れた事業展開を推進し、多様な市民のニーズに対応する生涯学習の場を提供していく。

平成19年度事業実施方針

- ・地域性や社会の変化に応じ、適切な要望を取り入れ自発的に学習できるよう事業を展開する。
- ・市民の主体的な学習を支援し、サークルや地域等の人材・学習機会の提供を行う。
- ・市民が学んだ成果を、地域で有効に活用できるように支援を行うと共に、指導者の育成に務める。
- ・地域の人材活用の機会を広げると同時に、学びのコミュニティの形成を図る。
- ・社会の変化に伴う様々な課題に対応する事業の展開に務める。

特色ある事業

<子育てスキルアップ>

① **ねらい**
 子育て中の保護者に共通する、現代的な悩みや生活上の不安の解消を図り、身近なテーマの学習体験を通して、仲間づくりや社会参加の機会を提供する。また地域のサークルとの連携を深める。

② **対象** 乳幼児を持つ親

③ **コマ数、参加延べ人数** 2回 / 33人

④ **概要**
 子育て中の親を対象に実施した企画講座から生まれた講座。地域の子育てサークルと共催し、親子間のコミュニケーションの取り方や、護身術について学び、家庭生活や仲間づくりに役立てた。

<リーダーズシアターの世界>

① **ねらい**
 コミュニケーション不足が懸念される青少年世代を対象に、自ら表現することや、感情を相手に伝えることの重要性を、朗読劇を通して学び、コミュニケーション力を育む。

② **対象** 中学生から20代

③ **コマ数、参加延べ人数** 6回 / 58人

④ **概要**
 夏休み期間の夜間講座として開催。朗読劇を基礎練習から学び、異世代間の交流を図りながら、数回の稽古を経て発表会を行った。また、秋のセンターまつりでも主催講座の成果として、ステージ参加発表を行った。

【平成19年度 事業数】

家庭教育推進事業	青少年健全育成事業	成人学習振興事業	高齢者学習振興事業	地域社会教育推進事業	民間指導者育成事業	学習情報提供学習相談事業
3	10	3	3	11	0	4

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/asahigaoka/index.html>

三本松市民センター

沿 革

当市民センターは、北仙台駅から近く、閑静な住宅街である堤町の中に位置し、西側には雑木林が残されているなど環境に恵まれている。堤町は、現在は窯の火は消えたが、古くから「堤焼き」と「堤人形」の町として知られた歴史のある地域である。

当市民センターは、昭和 62 年 4 月 14 日、泉ヶ岳を眺望できる高台に建設された。駐車場(45 台)、舞台付で約 50 畳の和室と広い体育館(バスケットボールコート 1 面、バレーボールコート 2 面、卓球台 12 台)があり、地域住民の生涯学習の場として広く利用されている。

平成 19 年度事業実施方針

地域のコミュニティーづくりを目標に、仙台市の重点施策に基づき、子育て支援事業、学社連携等の事業、住民参加型の事業等を、地域の状況・課題を踏まえつつ、地域各種団体等と連携しながら生涯学習を展開していく。そして地域住民各世代の交流を促進し、地域の各界・各層が助け合うまちづくりをめざす。また積極的に情報の収集・提供を行い、市民センターを広報・周知し、生涯学習の充実を図る。

特色ある事業

＜堤・あけぼの町探検＞

① ねらい

堤町・あけぼの町は坂道の多い地域である。地域の歴史・地勢・地名の由来などを学び、坂道に愛称をつけてマップを作成し、センターまつりで公表、広く愛称の普及を図る。

② 対象 成人

③ コマ数, 参加延べ人数 5 回 / 45 人

④ 概要

対象とした堤・あけぼの町は歴史が古く伊達藩の時に形成された町並である。

地域の生活道路は坂が多く、これ等の坂道に歴史観を踏まえた愛称を講座で考え、地域に広報、寄せられた意見を参考に検討を重ね、地域内 10 ヶ所の坂に愛称をつけた。成果はセンターだより号外として広報し、センターまつりで展示、その後は館内に掲示している。

＜3 on 3 バスケットボール大会＞

① ねらい

土日の個人利用ではバスケットボール愛好者が多いため、平日の利用団体も含めてこれらの方々に大会の場を提供、技術向上と交流の促進を図る。また中学生・高校生を含む世代間交流の推進につなげる。

② 対象 中学生以上

③ コマ数, 参加延べ人数 2 回 / 90 人

④ 概要

当市民センターを利用するバスケットボール愛好者(成人・女子・中学生の部)20 チームにより、予選リーグ・決勝トーナメントを実施。参加者が審判・記録を務めるなど、大会の運営もスムーズに行われ世代間交流も促進された。次年度以降も継続してほしいとの意見が大半を占めた。

【平成 19 年度 事業数】

家庭教育推進事業	青少年健全育成事業	成人学習振興事業	高齢者学習振興事業	地域社会教育推進事業	民間指導者育成事業	学習情報提供学習相談事業
3	4	5	3	8	3	4

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/sanbonmatsu/index.html>

片平市民センター

沿 革

平成元年、地域からの強い要望・協力のもと児童館併設の市民センターとして開館。
 仙台市の中心部に位置し、文化・歴史的資源の集積した地区で、利便性・自然環境・学術的環境に恵まれ、全市域から市民が訪れ豊かな生涯学習の場として諸活動に利用されている。さまざまな国の外国人留学生や滞在家族の利用も多い。また、コミュニティ防災センターも併設され、地域の中核施設として、町内会・子ども会など地域住民の活動の場でもあり、併設の児童館は、児童の健全な成長と若い親たちの交流の場として親しまれている。あわせて、広瀬川自然展示コーナーもあり、周辺の豊かな環境の情報を提供している。

平成 19 年度事業実施方針

1. 学びのバリアフリーをめざし、国際情報・環境保全・福祉・司法制度等の問題を取り上げる。
2. センターだより「げんべえ」やホームページ等で、広く地域へ学習情報を提供する。
3. 市民が地域に成果を還元できるような講座を企画・運営する。
4. 歴史的・自然的資源を素材に地域再発見を促し、地域づくりの団体の交流を推進する。
5. 「懇話会」を開設し、あわせてアンケート調査により市民や受講生の意見を把握する。

特色ある事業

<かたひら waiwai 広場>

① ねらい

地域の人とのコミュニケーションを図るという主旨を共有する地域 5 団体(片平丁小学校 PTA・片平丁小学校社会学級・片平子育てクラブ will・片平児童館・片平市民センター)の連携事業。子どもから大人まで楽しめるイベント内容で、世代を越えて交流を深める。

② 対象：地域住民

③ コマ数、参加延べ人数：1回 / 669人

④ 概要

宮城県工業高校と片平丁小学校吹奏楽部の演奏や、片平丁小学校4年生によるソーラン踊りの発表、チャレンジコーナーや昔遊び、ストラックアウト、おさがりバザー、そして恒例の餅まきと、多くの地域住民が参加し賑わった。

<仙台城親子クイズラリー>

① ねらい

地域に近接する仙台城址を親子で散策し、地域の子どもたちが歴史的、文化的遺産としてのお城や城下町仙台の歴史というものを理解したり、誇りに思う心を育てる。

② 対象：小学生とその家族

③ コマ数、参加延べ人数：1回 / 14組

④ 概要

仙台城址を巡る親子クイズラリー。博物館前広場から仙台城本丸跡・三の丸跡までのコースをめぐり、仙台城にまつわる歴史クイズをポイントごとに設定するウオークラリーと、仙台城ガイドボランティア会による歴史散策学習を楽しんだ。

【平成 19 年度 事業数】

家庭教育推進事業	青少年健全育成事業	成人学習振興事業	高齢者学習振興事業	地域社会教育推進事業	民間指導者育成事業	学習情報提供学習相談事業
1	2	6	1	6	4	2

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/katahira/index.html>

大沢市民センター

沿 革

当センターは青葉区西北部に位置し、田園地帯や緑多い丘陵地帯など閑静な自然環境の中に平成2年5月、大沢市民センターとして児童館・コミュニティ防災センターを併設し開館した。
 当地域は、古い史跡が点在する歴史ある地域でもあり、古くからの村落と新興団地等の開発が進む中で、さらに発展しようとしている。このような地域背景を下にその特性を生かし社会の変化に伴う市民の学習ニーズに応え、生涯学習活動の拠点・地域住民の交流の場として、市民に広く利用され親しまれている。

平成 19 年度事業実施方針

地域との連携を更に発展させ、安全・安心な地域づくりの拠点施設としての役割を推進するとともに、地域の特性や人材を活用するなど、多彩な事業を展開する中で、施設のサロン化にも積極的に取り組み、地域の人々が気軽に交流する場・情報の収集や発信の場として活用されるよう、真に「開かれた市民センター」としての展開を図る。

特色ある事業

- <里山自然塾>**
- ① **ねらい**
 市民に大沢地区の里山をめぐる自然観察や森林保護、枝打ち体験などを通じて自然環境の大切さについて学習する。「蒲沢山」をフィールドに、森林保護活動を行っている団体と連携し、地域の豊かなコミュニティづくりを目指す。
 - ② **対象** どなたでも
 - ③ **コマ数, 参加延べ人数** 2 回 / 92 人
 - ④ **概要**
 地元の里山をフィールドに活動している環境保全団体との連携で、環境保全活動の一環として、実際に枝打ち体験や冬の里山体験活動の実施。
- <地域交流畑 町も畑も元気大沢>**
- ① **ねらい**
 野菜作りを通じて、健全な食生活と健康で豊かな人間性を育むことが出来る環境づくりを実践する。また、作物を育て収穫する過程で地域の方や子どもたちとの交流会を実施することにより、世代間交流や農業体験の共有化の場とする。
 - ② **対象** どなたでも
 - ③ **コマ数, 参加延べ人数** 15 回 / 406 人
 - ④ **概要**
 やさい作りを通じた地域づくりや人づくりの一環として、ロビー開放事業や市民まつりへの参加、受講生リーダーの活用や交流会での仲間づくりや食育の実践。

【平成 19 年度 事業数】

家庭教育推進事業	青少年健全育成事業	成人学習振興事業	高齢者学習振興事業	地域社会教育推進事業	民間指導者育成事業	学習情報提供学習相談事業
1	4	3	2	9	5	4

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/osawa/index.html>

水の森市民センター

沿 革

当センターは、緑豊かな森と湖沼で、広く市民の憩いの場として親しまれている水の森公園の南口に立地し、自然保養林を背にした高台にあり自然環境に恵まれている。管内は水の森、東勝山、桜ヶ丘、川平等の閑静な住宅地を擁しているが、初期に開発された住宅団地のため、極めて高齢化率の高い地域である。(H19年5月現在25.45%)

平成2年9月に市民センター・児童館・温水プール・防災コミュニティセンターとの複合施設としてオープンした。複合施設の強みで、年末年始を除いて休みなく利用者が訪れる地域の生涯学習の拠点的存在である。2階の広いメインホールは、利用者の情報交換や憩いの場として高齢者から幼児まで年中賑わいをみせている。

平成19年度事業実施方針

地域の特性や、水の森ならではの強みを存分に活かした事業の展開に努め、地域の生涯学習の拠点として多様な情報を発信していきたい。地域の町内会、各種団体や学校等と更なる連携強化を図り、地域の活力あるまちづくり運動にも積極的にかかわりを持っていく。さらに、これまで市民センターとの関わりが希薄であった層へのアプローチも試みる。

特色ある事業

＜笑顔のママって大好き！＞

① ねらい

孤立しない子育てを提案し、子育ての悩みを共有し解決策を見出す。さらには、積極的に地域で活躍できる人材を育成する。センター育成の子育て応援サークル「にこママ研究所」に講座の運営に携わってもらい、企画の連携も行う。

② 対象 子育て中の方・その家族

③ コマ数, 参加延べ人数 5回 / 224人

④ 概要

託児付講座の要望は非常に大きい。5回講座のうち2回を「にこママ研究所」の企画で全体の運営も担当してもらった。講話・実技・ワークショップ共に充実した内容の講座を実施できた。受講生間の交流も深まり、「にこママ研究所」のメンバーも増えた。孤立しない子育ての提案というテーマが深まりを見せた。

＜北仙台地域防災ネットワーク会議＞

① ねらい

北仙台地域のさまざまな団体・グループと連携した独自の、防災体制を組織して災害基本情報を整備し関係機関に情報を発信する。さらに単位町内会ごとの活動を支援し、共に安全で安心できる地域づくりを目指す。

② 対象 北仙台地域住民

③ コマ数, 参加延べ人数 13回 / 197人

④ 概要

北仙台連合町内会、北仙台中、同PTA、北仙台小、同PTA、北小おやじの会、北仙台民児協、学区体振などと連携し、「町内会防災マップコンテスト」「避難所開設マニュアルの作成・配布」「柏崎市視察」等を通して、町内会相互の情報交換が深まりをみせ、防災意識の向上に寄与している。

【平成19年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
6	2	2	2	8	4	2

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/mizunomori/index.html>

貝ヶ森市民センター

沿 革

“貝”をモチーフにしたデザインが館内随所に配された当市民センターは、平成5年4月に児童館を併設して開館した。閑静な住宅街の中にあつて、その瀟洒な建物は隣接する貝ヶ森中央公園とともに地域のシンボルとして親しまれている。

また、風光明媚な貝ヶ森地区は自然の風物に富み、さらに高等教育機関や文化施設などにも恵まれており、国際交流の盛んな場所でもある。

当市民センターは、可動式の舞台を持つ多目的ホール、会議室、調理台付き小会議室、水屋付き和室等があり、地域住民の学習・スポーツの場として、また、憩いの場として活用されている。

平成 19 年度事業実施方針

少子高齢化や核家族化、住民の入れ替わりなどに対応したコミュニティづくりを支援し、仙台市市民センター運営方針に基づき次の事業を重点的に行う。

- 1 地域や学校・児童館との連携を図る事業
- 2 学んだことを地域社会に生かすことができる事業
- 3 市民参画を推進する事業

特色ある事業

<星空映画祭>

① ねらい

地域の小・中・大学生を中心とした星空映画祭スタッフがトワイライトマーケットを行い、また、夜間には屋外での映画会を実施し親子のふれあいと、地域及び世代間の交流など地域活性化に繋げる。

② 対象 幼児～大人(幼児・小学生は保護者同伴)

③ コマ数, 参加延べ人数 1回 / 330人

④ 概要

8/25 トワイライトマーケット・・出店・ゲームコーナー(16:30～17:30)
映画上映会・・(18:30～20:30)

<水とあそぼう>

① ねらい

遊びを通して水環境保全への意識を高めることを目的とする。

② 対象 小学4年生以上(3年生以下は保護者同伴)

③ コマ数, 参加延べ人数 3回 / 36人

④ 概要

7/27・・地球上の水環境並びに水の特性をクイズ形式で学ぶ

8/3 ・・カレー作りを通し、食材が出来るまでに必要な隠れた水の量について学習する

8/10・・梅田川に行き水棲昆虫の観察をする

【平成 19 年度 事業数】

家庭教育推進事業	青少年健全育成事業	成人学習振興事業	高齢者学習振興事業	地域社会教育推進事業	民間指導者育成事業	学習情報提供学習相談事業
4	5	3	2	9	0	6

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/kaigamori/index.html>

落合市民センター

沿 革

当センターは、新しく改装したJR陸前落合駅前近くにあり、南には緑豊かな蕃山を望み、北に清流広瀬川が流れる自然豊かな落合・栗生地区のほぼ中央に位置し、平成6年4月に、コミュニティ防災センターを併設して開館した。当地区は、近年住宅団地造成や区画整理など宅地化が進み、年々その姿を変え人口も増え、特に若い世帯が増加している。

施設の特徴としては、可動式ステージと大型暖房機を備えた多目的ホールと和室2部屋、会議室兼調理実習室、図書室、親子室、娯楽室があり、地域住民の生涯学習の場となっている。

平成19年度事業実施方針

①地域内の学校・各種施設・団体・町内会と連携し、地域資源の有効活用や地域課題に対応した学習機会の提供。②市民センターだより・ポスター・チラシなどによる学習情報・地域情報発信。③活力ある地域づくりを推進するために、積極的な地域人材の発掘・育成・活用。④市民企画講座など市民参画を進め、地域との協働を図る。⑤懇話会などとおし、市民の学習ニーズを把握し、地域社会の変化に伴う課題に対応する事業の展開。

特色ある事業

＜栗生かんきょうスクール＞

① ねらい

学校・地域・公的機関と連携して地域の自然の大切さを学び、地域全体で子どもを守り育てていく。また、地域との交流により、地域住民が学校に関心を持ち、犯罪や事故から子ども達を守ることができる。地域の自然を守っていく必要性を認識する。

② 対象 栗生小学校生と栗生・落合地域のどなたでも

③ コマ数、参加延べ人数 6回 / 320人

④ 概要

栗生小学校ビオトープ「くりりん」で春の生き物調査、地域のサイカチ沼や蕃山周辺の生物調査やごみ拾いを行い地域環境を学習。小学校と市民センターでサケの稚魚を飼育し、広瀬川へ放流。サケの飼育や生態についての学習会も行った。

＜3年生の消防士体験＞

① ねらい

社会教育施設を学ぶ時期にあたる小学3年生が、消防署と市民センターのそれぞれの仕事について体験学習をし、公共施設の、役割について学ぶ。消火訓練・避難救助訓練等の実技体験から、親子で防災意識を高める。

② 対象 宮城地区の小学3年生と保護者

③ コマ数、参加延べ人数 1回 / 56人

④ 概要

宮城消防署において、災害時の消防署の役割等の説明を受けた後、親子で初期消火・放水・避難訓練・AED使用の救急救命体験・はしご車、起震車搭乗の実技体験をした。また市民センターでは市民センターの役割の説明を受けそれぞれの施設の仕事を学習した。

【平成19年度 事業数】

家庭教育推進事業	青少年健全育成事業	成人学習振興事業	高齢者学習振興事業	地域社会教育推進事業	民間指導者育成事業	学習情報提供学習相談事業
4	3	4	3	8	3	4

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/ochiai/index.html>

中山市民センター

沿 革

当市民センターは、旧中山コミュニティセンターを増改築し、平成7年4月に児童館を併設して開館した。中山地区でも国見ヶ丘地区に近い閑静な住宅地に位置し、また、月急山公園と隣接しており、自然環境に恵まれている。

中山・川平地区は、戸建て・集合住宅のほか、近年は大型マンションが立ち並び、新しい町並みを形成している。長い坂道のあるこの街は、両側にたくさんの商店が並び活力にあふれている。また、近くには福祉施設「せんだんの杜」、「せんだんの里」等福祉関係の施設があり、福祉に関する住民意識と学習意欲が高い地域になっている。

平成19年度事業実施方針

平成19年度は、前年度に引き続き、心豊かな地域づくり、地縁づくりに向けて参画型の学習推進と地域コミュニティを推進する。①市民センター事業と地域事業との連携を密に、学習機会や情報提供に努める。②青少年の健やかな心身の健康づくりを図るため、学校外活動事業の充実を図る。③芸術、文化の創造と発展をはかるため、各サークル活動の活性化支援に努める。④様々な施設や機関との繋がりを大切に、人と人との関係など「地縁」づくりを重視した事業を推進する。

特色ある事業

<市民企画講座「中山街道を往く」>

① ねらい

18年度市民企画講座「元気な中山！地域起こしをしませんか」による講座。藩政時代から利用されていた根白石と仙台城下とを結ぶ重要な旧中山街道を歩き、地域の歴史を学び、地域への愛着心を育てる。また世代間交流を図る。

② 対象 成人

③ コマ数、参加延べ人数 1回 / 33人

④ 概要

「平成中山風土記」を読み解きながら、北山と根白石を結ぶ旧中山街道を歩き、当時の信仰対象物や道路跡などの遺跡をたずね、今住んでいる中山の生い立ちを学ぶ。

<たいけん！ちょうせん！ドキドキッズ>

① ねらい

主に小学生を対象とし、学校ではできないモノづくりや遊び等の体験を通し子供達の自主性や創造力、理解力を養う。地域人材やジュニアリーダーを活用し、遊びの中から人と人とのコミュニケーションの仕方を学ぶ場の提供をする。

② 対象 小学生

③ コマ数、参加延べ人数 9回 / 169人

④ 概要

キンボール、親子でクッキング、ネイチャーゲーム、ネイチャークラフト、ドッチビー、昔遊び、ジュニアリーダーと遊ぼう、漫画を描こう、親子で星空観察。

【平成19年度 事業数】

家庭教育推進事業	青少年健全育成事業	成人学習振興事業	高齢者学習振興事業	地域社会教育推進事業	民間指導者育成事業	学習情報提供学習相談事業
2	2	3	2	9	6	4

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/nakayama/index.html>

折立市民センター

沿 革

当市民センターは、仙台市中心部から西方約 5 kmの地点に位置している。東側には青葉山丘陵、南側には里山蕃山、北側には広瀬川が流れ、西側にはその広瀬川によって形成された河岸段丘が開け、遠くには奥羽山系を眺望できるという自然環境に恵まれた場所に立地している。平成 7 年 5 月 30 日に市内 50 番目の市民センターとして、折立児童館・コミュニティ防災センターを併設して開館した。

施設の特徴としては、可動式のステージと大型暖房機が備わった多目的ホール、照明付の舞台を備えた 49 畳の和室、調理用機器を完備した会議室兼調理室等があり、地域住民の生涯学習・スポーツ・コミュニティづくりの場として、広く利用されている。

平成 19 年度事業実施方針

1. 地域活性化のために学校や地域との連携を深める事業の展開や、リーダー育成、地域の人材を活用する事業を積極的に推進する。
2. 新しい利用者の拡大を目指し、土日夜間講座を実施する。
3. 家庭教育や環境、防災など現代的課題に対応した事業を推進する。
4. 学習情報の提供、学習相談事業の充実を図る。

特色ある事業

<学社連携事業 防災教室「僕たちで守るまち」>

- ① **ねらい**
災害発生時に避難場所となる中学校で、中学生が出来る協力活動を想定し、普通救命や防災備蓄品の取り扱いを学習する。中学生の防災意識の向上と、地域住民との交流を図り、地域の防災力を高める。
- ② **対象** 折立中学校2年生
- ③ **コマ数、参加延べ人数** 1回 / 117人
- ④ **概要**
仙台市青葉消防署職員による心肺蘇生法や AED 使用法等の普通救命講習を行った。また仮設簡易トイレの組立方法を町内会、民生委員、中学校 PTA 等地域住民の協力を得て実際に組立方法を学んだ。

<地域発信「ボランティア情報誌」>

- ① **ねらい**
地域で活動しているボランティア団体または個人の情報提供の場として情報誌を作成し、ボランティア活動の支援をする。地域住民に活動の趣旨を周知し、ボランティア活動への理解を深め、活動に参加する機会を提供する。
- ② **対象** 地域のボランティア活動者を含む成人
- ③ **コマ数、参加延べ人数** 6回 / 25人
- ④ **概要**
各団体または個人のボランティア活動の情報交換と年 2 回の情報誌の編集、発行を行った。

【平成 19 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
1	3	5	3	9	3	3

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/oritate/index.html>

吉成市民センター

沿 革

平成8年4月国見ヶ丘2丁目地内に市内51番目の市民センターとして、児童館及びコミュニティ防災センターを併設して開館した。吉成地区は住宅地と商店街が共存し、市内北部と西部を結ぶ交通の要衝となっている。当センターは吉成学区と南吉成学区の2連合町内会を管轄しており、吉成学区は、7町内会8,877人、南吉成学区は、6町内会9,313人、総世帯数6,765世帯となっている。現在南吉成学区を中心に人口も増大の趨勢にあり、当市民センターの平成19年度利用者は、年間70,804人、利用件数2,228件と、地域における生涯学習の拠点となっている。

平成19年度事業実施方針

市民センターの活動をとおして、地域の住民が自律的に課題への対応が出来るよう促す
 地域団体のネットワークづくりのきっかけをつくる
 地域の自然環境保全とその有効活用についての取り組みをする
 懇談会、団体交流会、市民企画などとおして地域課題や、ニーズを積極的に把握する
 保護者や、子供たちが食事の大切さを学ぶため、食育について実践的に取り組む

特色ある事業

<里山整備ボランティア養成講座>

① **ねらい**

地域の里山である権現森を整備し、地域の人々が自然を愛し保護、活用するために整備ボランティアを養成する。このことにより学んだことを地域、社会に生かすことができるようにする。

② **対象・成人**

③ **コマ数、参加延べ人数** 3回／18人

④ **概要**

権現森の概要と枝打ちや下草刈りの実践を森林管理署の指導のもとに学ぶ。
 整備にあたっての注意点、時期など、自然観察を加えて権現森の魅力を学ぶ
 講座終了後12名により整備ボランティア「権現森自然研究会」が発足した。

<地域団体交流会>

① **ねらい**

地域で活動する団体を知り、地域の人的ネットワークづくりのきっかけを作る場を提供する。

② **対 象**・地域で活動する各種団体

③ **コマ数、参加延べ人数** 2回／40人

④ **概要**

吉成学区連合町内会と、連携し
 1回目・地域活動団体32団体が集合し、団体の活動紹介と顔合わせ
 2回目・次年度における交流会の方向性の協議(5団体による討議)
 来年度は、地域防災を交流会の視点に討議することとした。

【平成19年度 事業数】

家庭教育推進事業	青少年健全育成事業	成人学習振興事業	高齢者学習振興事業	地域社会教育推進事業	民間指導者育成事業	学習情報提供学習相談事業
3	4	5	2	9	3	4

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/yosinari/index.html>

木町通市民センター

沿 革

当市民センターは、木町通小学校の全面改築に伴い、平成16年4月に小学校と児童館、コミュニティ防災センターとの複合施設として開館した。市民センター施設は、5・6階に位置し全館バリアフリー対応になっている。また、屋上緑化を施し、一部は児童館の庭園として利用している。

木町通地区は市の中心部に位置し、官公庁・学校・病院・商業施設が建ち並ぶとともに、マンションなどの集合住宅と古くからの住宅が混在し新旧住民が混在している地域特性がある。

このような特徴と複合施設である利点を活かし、地域との連携を図りながら講座を通して学びの場を提供することを目指している。

平成19年度事業実施方針

地域と連携する事業に力を入れ、地域特性対応事業を複数展開する。

1. 市の行政施策に対応した講座や、重点施策に沿った講座を展開することにより幅広い課題を市民が学べるよう推進する。
2. 高齢者、成人、団塊世代、子育て中の親など幅広いライフステージを対象に事業展開を行なう。

特色ある事業

<みんなあつまれ！あそび塾>

- ① **ねらい**
木町通の地域は都市化が進み、防犯の面からも子どもたちが安心して遊べる環境が失われてきている。そこで地域団体の協力を得つつ、子どもたちが放課後安心して遊び学べる環境をつくる。
- ② **対象** 小学生
- ③ **コマ数、参加延べ人数** 7回 / 115人
- ④ **概要**
地域の大人たちとの交流の中で様々な遊びや学びを提供する。
ものづくり体験・伝統あそび体験・絵本の中のおやつ作り体験・だんごの木作り体験・伝統料理体験・世界のあそびで国際交流・室内ゲーム体験

<学生スタッフ企画事業2007>

- ① **ねらい**
学生が多く在住する地域にあっても、市民センターの各種講座に参加する機会の少ない世代に講座の企画・運営に関わる事で、市民センターの存在や役割を理解してもらう。
- ② **対象** 学生
- ③ **コマ数、参加延べ人数** 12回 / 54人
- ④ **概要**
複数の違う大学や専門学校の学生が参加し、会議を重ね、同世代の若者を対象に学生の視点からの講座を企画し実行した。

【平成19年度 事業数】

家庭教育推進事業	青少年健全育成事業	成人学習振興事業	高齢者学習振興事業	地域社会教育推進事業	民間指導者育成事業	学習情報提供学習相談事業
3	6	4	2	6	5	2

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/kimachi/index.html>

中央市民センター

沿 革

仙台市の公民館は、昭和 21 年に在仙文化人有志による民間団体として設置され、その後、昭和 24 年に仙台市公民館条例が制定されて「仙台市公民館」が発足した。各地域に公民館が設置されたのに伴い、昭和 48 年には中央公民館と改称し、昭和 58 年には榴岡図書館とともに仙台駅東口の現在地に開館した。平成元年には中央市民センター・公民館となったが、翌年には中央市民センターと改称した。

当市民センターが位置する仙台駅東口周辺は、高い利便性を活かした企業や学校、マンションが混在するとともに、古い歴史ある地域としての顔も併せ持っている。そういった立地条件から、市内各方面からの利用者や夜間の利用頻度も高く、多様な学習活動、市民活動が活発である。

平成 19 年度事業実施方針

- ・ 社会経済環境の変化に対応する為に必要な知識と情報を提供し、市民力や仕事力を高め、異業種間・世代間の交流を深める事業を行う。
- ・ 主体的に学ぶために必要な生涯学習情報や市民活動の情報の提供を行う。
- ・ 学習の成果を地域に活かせるように活動支援を行い、コーディネーターとしての役割を担う。
- ・ 学校や地域と連携し、地域全体で子どもの成長を支える気運を高め、知縁を活かした地域の交流促進を図る。
- ・ 地域課題や住民の声を汲み上げ、事業に反映・参画していけるよう努める。

特色ある事業

＜榴岡かいわい学びのコミュニティづくり推進委員会＞

① ねらい

学校・家庭・地域社会がそれぞれに持つ教育力がより相乗的に発揮されることを目指した「榴岡かいわい学びのコミュニティ推進事業」の実施の為に、事業の具体的な企画から実施に向けた取り組みを行う。

② 対象 近隣の小学校・中学校と各学校関係団体を中心とした推進委員

③ コマ数, 参加延べ人数 8 回 /124 人

④ 概要

推進事業の開催について話し合い、「つつじがおかワイワイまつり」を 2 回実施した。それぞれが得意分野を活かして手作りの祭りになった。その過程では、各団体の活動状況などを情報交換し、交流を深めた。継続して実施しているので、市民センター事業も含めて、地域で子ども達を見守っていく活動同士の理解を深めている。

＜サークル情報展 サークルこみゅにけ '07＞

① ねらい

サークルの活動紹介や会員募集などの情報発信、サークル間の交流の場を提供する。また、活動を始めようとする市民に対し広く情報の提供を行う。

② 対象 どなたでも

③ コマ数, 参加延べ人数 1 回 /2080 人

④ 概要

サークルの活動や会員募集などの PR を記入した紹介用紙をパネル展示し、市民に情報提供を行った。また、期間中、サークルこみゅにけ参加団体による作品展示をして活動を紹介した。

【平成 19 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
5	5	9	0	7	2	7

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/chuo/index.html>

高砂市民センター

沿 革

昭和 43 年 10 月、仙台市立高砂小学校校舎を改築し、高砂公民館として発足した。昭和 53 年 6 月の宮城県沖地震で建物が大破、隣接する前高砂小学校給食センターを改築し、昭和 54 年 4 月に移転した。平成元年 4 月「高砂市民センター・公民館」に、翌年 4 月に「高砂市民センター」と改称された。その後、施設利用者の増加と建物の老朽化などに伴い、平成 6 年 5 月高砂地区のほぼ中心部に福祉関係の施設とともに複合施設として新たに開館した。高砂地区は七北田川、貞山運河、蒲生干潟などの自然に恵まれたところであり、南部に広い田園地帯が広がっている一方、急激な都市化が進み、田畑が住宅地になり住民が急増している。また仙台港背後地として物流、工業、商業地としての整備発展が大いに期待されている地区でもある。

平成 19 年度事業実施方針

複合施設でもある当センターは、多くの地域住民の利用があり、その年齢層も多岐にわたっている。その特性を活かし、地域の生涯学習の拠点・情報発信の場としての事業を展開するとともに、地域との連携を深め、活力ある地域づくりを推進していく。今年度は地域活性化に寄与できるサークル等の育成支援に力を入れるとともに、学校や地域団体など連携の可能性を探りながらの事業の展開、更には団塊の世代の活用を図りながら地域・人・知縁コミュニティづくりを推進する。

特色ある事業

<音楽ボランティア～音あそび楽団をつくろう>

① わらい

家に眠っている楽器を使って音遊びをすることから始まり、全員で曲を演奏する楽しさを知り、それを地域町内や施設、病院などで活躍できるボランティア団体へとつなげていくことを目的とする。

② 対象 … 家庭にある楽器を持って参加できる方(成人)

③ コマ数、参加延べ人数… 16回 / 149人

④ 概要

10 名以上の応募があり、ハーモニカからバイオリンまで様々な楽器での楽団のスタートとなった。簡単な曲を練習するところから始まり、目標をセンターまつりにおいての演奏発表としたため、予定以上の開催コマ数となったが、回を重ねる中で結束力も強まり、殆どの受講者がボランティア音楽団として活動していくこととなった。

<4 館連携「七北田川下流域防災フォーラム」>

① わらい

岩切、高砂、田子、福室の 4 つの市民センターは七北田川下流域に設置されていることから、今後予測される地震や津波などの災害に対し、地域の特性や町内の協力体制などについて再認識を図る。

② 対象 … どなたでも

③ コマ数、参加延べ人数… 1回 / 53人

④ 概要

七北田川下流域に起こり得る災害とその対策について、東北大学の今村教授の基調講演と地域町内で防災活動を進めている方々をパネリストとしたシンポジウムを組み合わせた大型講座として開催した。単独館としては開催が難しい内容・講師による講座も4館が連携することで広がりを見せ、有意義な講座となった。

【平成 19 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
3	8	7	2	6	7	3

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/takasago/index.html>

岩切市民センター

沿革

昭和57年1月、岩切公民館として県道仙台・松島線(通称:利府街道)沿いの岩切地区に、保健センター・老人憩いの家・コミュニティ防災センターとの併設施設として開館、平成2年4月に岩切市民センターに改まった。

岩切地区は、宮城野区の北東部に位置し多賀城市と利府町、富谷町に接している。地域内には、国指定の史跡である岩切城址や東光寺の磨崖仏・板碑・蒙古の碑等、歴史上重要なものが多く、縄文時代から中世・近世に至るまで、連続と続く歴史を伝える遺跡に囲まれている。

また、田園風景が美しく、さらに、古くからの歴史と文化を伝えている神社や仏閣などがあり、人々の日常生活の中でも大切に守り継がれている。

平成19年度事業実施方針

地区内は田園風景と里山の自然環境に恵まれ、古代から塩釜街道と石巻街道の分岐する重要な地として史跡・文化財の豊かな地域である。一方、駅周辺の土地区画整理が進み大型商業施設や新興住宅が広がり、他の地区同様高齢化が進む一方、若い世代も増えつつある。

18年度は、改修工事のため積極的な事業が出来なかったもので、19年度は、若い世代の人々も参加できるような、岩切地区の自然や歴史・文化を広める事業を展開していきたい。

特色ある事業

＜地域のできるエコ対策＞

① ねらい

地域が良好な環境で暮らすために、地域環境問題の中でも地球温暖化対策を重視し、「家庭教育地域交流会」で連携協力している六団体がパートナーシップとして取り組む。家庭や自分たちで出来るエコ対策を学ぶ機会とする。

② 対象 小中学生とその保護者

③ コマ数, 参加延べ人数 2回 / 66人

④ 概要

1回目はエコクッキング「大根1本料理に挑戦」。大根1本を丸ごと使い切る料理をすることで、ゴミを出さないエコクッキングを学ぶ。2回目は環境「自分で出来る温暖化対策」。3部作による講演会を実施。第1部「地球温暖化とわたしたちの暮らし」第2部「気軽でお得な自分流エコライフ」第3部「ワークショップ～省エネグッズ紹介～」

＜岩切散策＞

① ねらい

岩切探訪の会のガイドボランティアを有効活用し、岩切地区を歩きながら、地域の自然や歴史を語り合い、知識や交流を深める。

② 対象 成人

③ コマ数, 参加延べ人数 4回 / 81人

④ 概要

地元の歴史研究サークル「岩切探訪の会」が作成した「岩切散策マップ」を基に、岩切の史跡名所をめぐる。Ⅰ奥の細道・十符の池方面、Ⅱ今市・足軽の街を歩く、Ⅲ正岡子規とよみがえる中世の道を歩く、Ⅳよみがえる中世・遺跡を訪ねて。4回コースの散策。普段見ることの出来ない、民家の庭先や個人所有地内などにある遺跡を見ることが出来る。

【平成19年度 事業数】

家庭教育推進事業	青少年健全育成事業	成人学習振興事業	高齢者学習振興事業	地域社会教育推進事業	民間指導者育成事業	学習情報提供学習相談事業
3	3	4	4	7	2	3

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/iwakiri/index.html>

鶴ヶ谷市民センター

沿 革

当市民センターが所在する鶴ヶ谷地区は、東北最大のモデル団地として昭和 43 年に入居が開始された新興地である。当館は団地の完成と共にRC3 階建、温水プールを併設する施設として昭和 47 年 5 月 22 日に開館した。

その後、地域住民から生涯学習への要望が高まり、昭和 59 年からは岩切公民館の協力を受け各種の講座が開設されることとなるが、本格的に生涯学習が展開されたのは、平成元年、市民センター・公民館として発足してからのことである。

平成 4 年 4 月には児童館が併設され、地域の生涯学習・児童福祉・コミュニティづくりの拠点として機能している。なお温水プールは、平成 11 年 4 月から外郭団体へと管理が委託されている。

平成 19 年度事業実施方針

- ・学校、町内会、地域の各種団体等との連携を深め、継続的に地域を育てる事業を展開。
- ・地域の歴史、文化、自然環境等に配慮し、地域活性化が図れる事業を展開。
- ・地域住民や団体等との懇談を実現し、ニーズ・課題等を把握し、安全・安心まちづくりの推進に繋がる事業を展開する。
- ・館内事業にとどまらず出前講座等を多用し、積極的に館外活動推進に邁進する。

特色ある事業

＜君もプチレスキュー＞

① ねらい

中学生を主体とし、災害時の避難所運営においてさまざまな想定のもとに、どのようなボランティア活動ができるのか等を体験学習を通して意識付けを行い、災害時に連携活動ができる体制を整える。

② 対象 中学 3 年生

③ コマ数, 参加延べ人数 5 回 / 532 人

④ 概要

災害時に避難所に必要な支援策について、仮設トイレ組立訓練、担架搬送、救急救命講習、炊き出し、テント張り など避難所設置時の実技を体験し、中学生が災害時に即戦力のあるボランティア活動ができるよう養成。

＜介護予防講座＞

① ねらい

高齢化社会における介護予防策として、食のバランス・運動実技など健康な身体づくりのコツを学習し、介護されない予防策として自己管理の重要性を意識付ける。

② 対象 成人

③ コマ数, 参加延べ人数 5 回 / 91 人

④ 概要

自己の現在状態を知り、道具の要らない自宅でできるトレーニング、認知症の理解と介護サービス、適正な栄養と摂取、身体を上手に使うためのトレーニング、介護食と食事の介助法など自己管理の仕方について学んだ。

【平成 19 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
2	6	7	1	7	2	6

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/tsurugaya/index.html>

榴ヶ岡市民センター

沿 革

日本住宅公団の高層共同住宅の建設に伴い、一階・地階部分の一部を市民会館の分館として位置付け、昭和48年6月に開館し、平成元年4月に公民館が併設され翌年4月に榴ヶ岡市民センターに改称された。

当市民センターは、市民の憩いの場である榴岡公園の東側に位置し自然環境に恵まれ、近くには仙台市歴史民俗資料館・国の合同庁舎・クリネックススタジアム宮城などがある。中心市街地として都市基盤整備が進み古くからの街並みが日々変化している中、新旧地元住民の交流の場として、また各種会合や生涯学習活動の場として多くの人々に利用されている。

平成19年度事業実施方針

新旧を併せ持つ地域環境の中で、「地域に根ざした地域の市民センター」を重点課題として取り組み、町内会および地域団体等との連携を強化し、来館者数、利用率の拡大を推進してきた。

今年度は、さらに町内会、地域団体、小中学校、社会学級等との連携を強化し、利用者数の拡大を図りながら、市民が主体的に学び、その成果を生かせる支援を一層推進する。

特色ある事業

＜榴ヶ岡パパ・ママ子育て応援クラブ＞

① ねらい

幼児とその保護者のために、子育てをとおした交流の場を設け、家事や育児に経験豊富な人たちの知恵を、若い親たちに伝えられるような機会づくりを行う。

② 対象 乳幼児とその保護者

③ コマ数、参加延べ人数 8回 / 185人

④ 概要

幼児と父母が集い、読み聞かせ、タッピングタッチ、紙芝居などとおして子育てに関する話題に親しみながら、参加者同士のコミュニケーションの場として展開したほか、子育てについての情報交換も行われた。

＜子どもの笑顔のために＞

① ねらい

いじめや不登校などで揺れる思春期の子ども達の心の声を聴き、親子、または、大人と子どものよりよい信頼関係を築くことを学ぶ。さらに地域では、子ども達を温かく見守っていける環境づくりを目指す。

② 対象 小中学生の保護者・地域の方

③ コマ数、参加延べ人数 2回 / 81人

④ 概要

地域内小中学校PTA他、主たる組織団体との連携・共催で実施。「地域が子どもを育むために」のテーマによるパネルディスカッションと「親子のコミュニケーションについて」の講話。さらに参加者と講師がテーマについて意見交換をした。

【平成19年度 事業数】

家庭教育推進事業	青少年健全育成事業	成人学習振興事業	高齢者学習振興事業	地域社会教育推進事業	民間指導者育成事業	学習情報提供学習相談事業
3	3	5	2	14	1	4

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/tsutsujigaoka/index.html>

東部市民センター

沿 革

昭和 47 年 5 月に旧保健所庁舎の一部を改装し開館した「東部市民福祉会館」を前身としている。その後全面改装などを経て、平成に入り「東部市民センター」に改称、平成 5 年 4 月には「東部児童館」が併設されている。

当市民センターは、宮城野区役所から北東へ約 0.7km の地点に位置し、通称「中原地区」といわれる住宅地にある。付近には、東仙台・苦竹・原町などそれぞれの歴史を持つ住宅地や商業地が広がっている。近年、新田や新田東地区の人口増加により館利用の範囲が広がってきている。

平成 19 年度事業実施方針

当市民センターでは、前年度に新興住宅地と従来の管轄地域とのニーズ調整を図ることができた。また、連携事業・市民企画事業の実施により、新たな地域協力者や連携団体の開発につながり、大きな成果が得られた。19 年度は学社連携・市民参画をさらに推進すると共に、新たな地域諸団体との連携に力を入れ、市民センターが地域に根ざし、地域の核としての役割が遂行できるよう事業を展開していきたい。

特色ある事業

<子どもあつての親>

I「子どもの食と健康」・II「子どもの発達」・III「親子のコミュニケーション」>

① **ねらい**

社会状況の変化や核家族化などにより、さまざまな不安を抱えながら子育てをしている親たちの悩みや不安を解消するための学習の機会を提供する。

② **対象** 子育て中の親

③ **コマ数, 参加延べ人数** 6 回 / 85 人

④ **概要**

「子どもの食と健康」では子どもの食の現状・親子関係と食・子どもの食と健康について、「子どもの発達」では各発達段階での課題は何かということ、「親子のコミュニケーション」では子どもの気持ちの聞き方・親の気持ちの伝え方を、それぞれの専門家から学んだ。

<東部お宝記者くらぶ>

① **ねらい**

地域住民が、地域情報を収集・発信することで地域のよさに気づき、地域をすみよくする意識を高める場を提供する。

② **対象** 成人

③ **コマ数, 参加延べ人数** 9 回 / 37 人

④ **概要**

新聞記者から記者の心得や記事の書き方などを学んだ後、地域情報を収集してセンターだよりにその記事を掲載した。また、センターまつりでは壁新聞を作成し発表した。

【平成 19 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
6	1	5	3	5	5	3

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/tobu/index.html>

幸町市民センター

沿 革

平成5年4月20日、地域住民の長年の念願がかない、幸町児童館及び幸町コミュニティ防災センターを併設した複合施設として開館した。

当施設がある幸町中学校区は、与兵衛沼を囲む緑豊か里山が残存し、自然環境に恵まれた柗江・安養寺地区と、旧来からの住宅地であった南丘陵斜面に位置する二の森地区、旧田園地帯で今は量販店や高層住宅が林立する幸町地区・大楯地区からなっている。

地域内には宮城野図書館、県保健環境センター等の社会教育施設も多く、生涯学習活動環境としては最適である。また、県障害者福祉センター、県障害者総合体育センター、授産施設、特別養護老人ホーム等の福祉施設も多々あり、遠方からの利用者も多い。

平成19年度事業実施方針

当地域は、県、市営・公団等の共同住宅が多い地域である。又民間マンション等の建設が相次ぎここ数年で地域環境が大きく変化し、若年層の増加がみられる。この著しい変化に伴い、新旧住民のコミュニケーション不足がみられる。こうした地域の特性を踏まえ、全市重点事業の、学校や地域との連携事業、子育て支援の託児付事業、青少年健全育成事業等を実施する。又、土日開催や夜間講座を開催し普段利用できない方が参加し易い環境をつくり利用者の拡大を図る。

特色ある事業

<学校へ行こう隊>

① ねらい

核家族世帯の多い地域の小学校と高齢者が、地域の自然探索や伝統文化の伝承などを通して交流を深めお互いを理解し合う。学校と地域社会の連携を深め子供達が安心して暮らせる地域コミュニティーづくりにつなげる。

② 対象 地域の小学生 地域住民

③ コマ数、参加延べ人数 14回 / 1,065人

④ 概要

地域内にある小学校と連携し、昔あそびや折り紙・しめ縄づくりなどを通して地域の方と小学生が交流を図った。

<夜のおはなし会 ～子どもの本の選び方～>

① ねらい

日中講座に参加できない働くお父さん・お母さんを対象に子どもの本の選び方や読み聞かせの参考にしてもらう。このことにより子どもの読書活動の推進につなげる。

② 対象 子どもの本に興味のある方

③ コマ数、参加延べ人数 4回 / 41人

④ 概要

宮城野図書館の協力を得て、夜間に開催。本の紹介はもとより、パネルシアター・ワークショップなどを取り入れ、読み聞かせを体験する場を提供。

【平成19年度 事業数】

家庭教育推進事業	青少年健全育成事業	成人学習振興事業	高齢者学習振興事業	地域社会教育推進事業	民間指導者育成事業	学習情報提供学習相談事業
2	2	7	2	9	3	2

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/saiwaichou/index.html>

田子市民センター

沿 革

平成11年8月、仙台市東部、宮城野区田子地区に仙台市で53番目の市民センターとして、大ホール、大小会議室、大小和室、調理実習室、児童館・同付属図書室・コミュニティ防災センターとの併設複合施設として開館。

田子は往古、湖の多さに坂上田村麻呂が多湖と名づけ、その後、風光明媚をもって源頼朝が静岡田子の浦に比して田子と改称したという伝承の地。付近には七北田川、田園など自然環境に加え歴史的な地域資源も豊富で学びの材料は無尽蔵とも。古くからの伝統的地域の半面、仙台中心地・近郊都市と直結するJR仙石線(最寄駅 福田町徒歩8分)や国道45号線などの利便性に多くの学校を有する教育環境などがあいまって、若い世帯を含め転入する住民の急増で近郊都市化が進展中。多数の力のあるリーダーを中心に、防災など特色ある地域活動が活発で、住民間の協力が進んでおり、市民センターはこれらの条件や立地を活かし学校や地域と連携、地域・環境を大切に事業を展開してきている。

平成19年度事業実施方針

- 1 地域との連携を強化し、地域課題を解決し、地域の自然・文化を学び守る事業を展開する。
- 2 市民センター便りの改善、近隣館との連携、及び講座告知の工夫で情報提供を充実する。
- 3 地域人材発掘、ボランティアグループ支援に加え、市民企画等、市民協働事業を推進する。
- 4 地域・学校・児童館、近隣市民センターとの連携強化を軸に地域のネットワーク作りを推進する。
- 5 託児付・土日夜間講座等便宜性を高めるとともに、受講者・市民の意見反映の場を拡充する。

特色ある事業

＜夏の講座＞

① ねらい

子ども達の長期夏休みを利用し、興味関心のある学習テーマについて、自主的・発展的な学習の場を提供する。又、「開かれた学校」を目指し地域人材の活用により学校と地域の交流を図っていく。

② 対象 田子・高砂小学校の児童生徒

③ コマ数, 参加延べ人数 20回 / 585人

④ 概要

国際理解、クレープ作り、朗読、お点前体験、星空観察、又、太極拳や空手などのスポーツなど市民センターが提供する他に学校による提案も多々あり。児童たちは学校や学年を超え、夏休みの期間を有意義に楽しく過ごした。

＜市民企画会—たごを愛する住民塾—＞

① ねらい

地域調査の結果に基づき、企画委員会で市民が地域について自ら必要課題について話し合う。顔の見える地域づくりと活性化を目指し、必要な事業を企画し実施運営する。

② 対象 地域住民から募集

③ コマ数, 参加延べ人数 11回 / 126人

④ 概要

19年度は「防災」をテーマに事業を展開、企画会から生まれた市民企画講座「夜の避難所体験」を実施した。今一番の関心内容である為、世代を超え地域から308名もの参加者を得、災害への関心を更に高め、理解を深めて好評を博した。又、町内会や学校の協力支援もあり、今後は地域が取り組む協働事業として定着してゆくことが期待される。

【平成19年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
3	5	4	2	7	3	3

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/tago/index.html>

福室市民センター

沿 革

福室市民センターは平成 15 年 3 月に宮城野区福室・栄地区に福室児童館・福室コミュニティ防災センターを併設して開館した。

この地域は七北田川左岸河口近くの田園地帯であったが、国道45号線とJR仙石線沿線にあり、仙台市中心部への交通の便が優れていることから急速に宅地が進んだ。また昭和 33 年に広大な仙台市宮高砂住宅団地が造成され、さらに昭和 56 年にJR仙石線中野栄駅も開設し、一挙に市街化が進んだ。現在、一般・集合住宅地域と旧来の農業地域が混在する地域となっているが、今なお七北田川周辺の美しい自然も残されている。

平成 19 年度事業実施方針

当センター管内は、西に七北田川、北は多賀城市と接し、南は仙台港背後地に囲まれた地域であり、福室地区、中野栄地区が中心となっている。平成 15 年 3 月開館以来、「知って・来て・参加してもらう」をモットーに各種講座を開催し、利用者増進に向けた取り組みを行っている。今年度は「地域協働の事業実施」を掲げ、地域団体、学校等の連携を深め、交流を図りながら、生涯学習事業の展開に務め「地域に根ざした・活力を生む・愛される市民センター」の運営を目指す。

特色ある事業

<「ブックワールド」～本の宝の箱を開けよう～>

① ねらい

親子や小学生または幅広い世代に向けて、本来の読み聞かせとは違う視点で、本に親しみ触れあう機会を提供する。

② 対象 親子、小学生、どなたでも

③ コマ数、参加延べ人数 5 回 / 75 人

④ 概要

親子遊びやわらべ歌、手遊び、ことば遊びまたは季節をテーマにした工作を取り入れ、子ども達の五感を通して本に触れ合うことができた。さらに言葉と音楽がコラボレーションした「おはなしとギターのコンサート」を開催した。

<地域探訪—地域を歩いてみよう・調べてみよう—>

① ねらい

地域の由来から見えてくる特徴を探り、福室・中野栄の歴史を学び、後世に語り継ぐ大切さを知る。地元の歴史を学ぶことで、地域住民の連帯感を深める場を提供する。

② 対象 成人

③ コマ数、参加延べ人数 4 回 / 36 人

④ 概要

福室・中野栄地域の歴史の説明を受け、実際に館外学習として現地「西光寺・深山神社・中野山誓渡寺・高見堂」を見学し散策した。

【平成 19 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
4	5	5	2	7	1	6

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/fukumuro/area.html>

若林区中央市民センター

沿 革

当市民センターは、昭和 53 年、当時の養種園の改築に伴い、養種園の複合施設として「南小泉市民福祉会館」の名称で開館した。その後条例改正により「南小泉市民センター」と名称を変えたが、平成 5 年 9 月 28 日、若林区文化センターの新設に伴い移転し、現在の「若林区中央市民センター」となった。旧建物は、児童館・社会福祉協議会等との複合施設となり、「若林区中央市民センター別棟」として運営されている。

若林区文化センターは、市民センター・図書館・市政情報センターが併設されている複合施設であり、当市民センターは地域の生涯学習活動の拠点として多くの区民に活用されている。

平成 19 年度事業実施方針

これまでの事業方針と地域ニーズを踏まえながら、重点事業としての「学校や地域との連携」や「市民が学んだ成果を地域社会に生かす」という市民センターに求められている課題に継続して取り組むほか、「読書活動推進計画」「すこやか子育てプラン」等の行政施策対応事業にも積極的に取り組んでいきたい。また日常業務としての広報・情報収集・支援業務を充実したものにして、魅力ある地域づくりを推進していくものとする。

特色ある事業

<おいしい若林 —郷土の料理 — (託児付き) >

① ねらい

地域の安全安心な食材と郷土料理を学び、伝統料理を次世代へ継承すると共に健康な生活を目指す機会とする。また、託児を付設することにより子育て中の世代にも食育に対する関心を深める機会とする。

② 対象 成人

③ コマ数、参加延べ人数 5 回 / 71 人

④ 概要

講話と実習

①宮城の食材と季節の料理 ②お盆の習わしと盆料理 ③行祭事とまつり料理 ④お正月の話と正月料理 ⑤産地訪問「地産地消を考える」ハウス・畑の見学と収穫体験

<こども夏まつり>

① ねらい

子どもたちに夏休みの始まりを有意義に過ごしてもらおうと共に、ジュニアリーダーや折り紙ボランティアのメンバーとふれあう機会とする。また、3 団体が共催することで、内容や広報の充実が図られ、地域連携が促進される。

② 対象 幼児～小学生

③ コマ数、参加延べ人数 1 回 / 365 人

④ 概要

オープニングでトーンチャイムの演奏 8 つのゲームコーナー (JL:もぐらたたきゲーム、折り紙ボランティア:作ってとばそうびょんびょんがえる他)をスタンプラリーで回り、ポップコーンを景品として配る。

【平成 19 年度 事業数】

家庭教育推進事業	青少年健全育成事業	成人学習振興事業	高齢者学習振興事業	地域社会教育推進事業	民間指導者育成事業	学習情報提供学習相談事業
3	10	5	3	5	2	6

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/wakachu/index.html>

七郷市民センター

沿 革

地元住民の要望により七郷公民館として昭和58年4月に保健センター・コミュニティ防災センターの複合施設として開館。平成元年には、七郷公民館・市民センターと改称し、若林区の拠点館となる。平成2年 七郷市民センターと改称。平成5年9月には若林区中央市民センター開館に伴い、拠点館機能を移行した。平成13年4月 (財)仙台ひと・まち交流財団が業務を実施。平成14年4月 児童館を併設し、その後、指定管理者制度導入により、(財)仙台ひと・まち交流財団が選定される。近年、荒井土地区画整理事業により新しい町並みが形成され、加えて地下鉄東西線整備事業も荒井起点ルート決定で、市民センターの果たす役割は大きく、新旧住民が交流しながら発展する街づくり、文化作りに市民センターは機会と場を提供している。

平成19年度事業実施方針

- 1 国際化、IT社会に伴い、生活課題や地域課題の現代的課題に対応した事業展開を図る。
- 2 市民の自主的学習に役立つ情報の提供と学習相談体制の確立に努める。
- 3 市民のボランティア精神の涵養と生涯学習ボランティアの育成・支援を行なう。
- 4 地域に根ざした生涯学習の推進と世代間交流を図り「より豊かな地域づくり」を支援する。
- 5 ライフステージ毎の事業の充実と質の向上を図り、ひろがりのある学習機会を提供する。

特色ある事業

<デジカメで作る七郷葉書>

① **ねらい**
デジカメとパソコンの使い方、活用法を学ぶことにより、IT機器の活用を幅を広げ、社会活動への意欲向上に繋げる。また、小学校のコンピュータ室を使用し、小学生にアシスタントとして活躍してもらうことにより世代間交流を図る。

② **対象** 成人

③ **コマ数, 参加延べ人数** 4回 / 51人

④ **概要**
農業園芸センターにおけるデジカメの写真撮影の実技指導を2回受け、七郷の風景を撮影する。その画像を七郷小学校コンピュータ室でコンピュータに取り込み画像処理、文字の入力を行い、暑中見舞いハガキとして完成させる。

<七郷学～七郷だからできるエコライフ>

① **ねらい**
七郷地区の特性にあった地球温暖化対策やリサイクル促進の具体的な取り組みを学び、地域に優しい暮らし方を考える。
市民企画講座「七郷学びの応援隊」から出された企画。

② **対象** 成人

③ **コマ数, 参加延べ人数** 4回 / 149人

④ **概要**
「環境」をテーマとした4回連続講座で、①CO₂削減法 ②有機肥料の作り方 ③3Rの実践のすすめ方、家庭ゴミの減量の工夫 ④仙台プラスチックリサイクル工場の見学を通して環境に優しい暮らし方を学ぶ。

【平成19年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
2	4	6	2	7	9	6

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/sichigo/index.html>

荒町市民センター

沿 革

昭和 47 年度に旧斎藤記念館を全面改築し、「荒町市民福祉会館」として昭和 48 年 5 月に開館した。昭和 58 年 4 月「荒町市民センター」と名称が変更になり、これまで施設・設備の充実を図り今日に至っている。

当市民センターは仙台市のほぼ中心部、老舗街である荒町商店街の一角に位置しており、仙台伊達藩の名残を今尚残している地域でもある。

また、地下鉄五橋駅から徒歩 5 分、JR仙台駅から徒歩 20 分と交通の便が良いため、地域はもとより市内全域から市民が訪れ、高い利用率となっている。また、サークル活動・勤労青少年活動の場として、幅広い年齢層に活用されている。

平成 19 年度事業実施方針

かつて御譜代町として栄えた荒町界限は、近年店じまいするところが目立ち、往時の面影が消えつつあるが、一方で斬新な発想によるまちおこしのための様々なイベントが企画されるようになった。19 年度の事業実施にあたっては、地域との連携・地域の活性化を軸に、荒町の歴史・文化の再発見、学習のバリアフリーを促進する講座を実施し、地域ニーズに対応した「開かれた魅力ある市民センター」を目標に取り組むこととする。

特色ある事業

<荒町子育てステップバイステップ 2007 託児付>

① **ねらい**
核家族が多い現代の社会状況の中、保護者に社会とつながる場と機会を提供するとともに視野を広げ、学ぶ意欲を高められるよう支援する。子どもたちには子ども同士のふれあいを体験する場を提供する。

② **対象** 就学前の子を持つ保護者

③ **コマ数, 参加延べ人数** 8 回 / 107 人

④ **概要**
前年度に引き続き、地域の託児ボランティアグループに託児を依頼した。親子ともゆったりしたペースで受講していただくため、全 8 回を月 1 回の長いスパンで開催。子育てに関するワークショップ、ベビーマッサージ、子どものための本選び、スクラップブックング、クリスマス会、ギターとお話コンサートなど、受講生の希望や季節に合わせた内容で開催した。

<広瀬川風の子くらぶ>

① **ねらい**
ものづくりやセンター周辺のまちや自然とのふれあいを通して子どもの生活力や知恵を育む。小学生を対象に、学校・家庭以外での学習や活動の場を提供し、地域住民や異世代との交流を図る。

② **対象** 小学生

③ **コマ数, 参加延べ人数** 3 回 / 79 人

④ **概要**
予め打ち合わせを重ねた地域の方々を講師に全 3 回開催。
① 郷土料理「ずんだ」を作り、会食しながら感想などを話し合った。
② 地域の公園を清掃し、火のつけ方を学び、焚き火で焼き芋をした。
③ 広瀬川の川原で冬鳥を観察し、鳥の名前や生態について学んだ。

【平成 19 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
2	3	3	2	8	5	4

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/aramachi/index.html>

六郷市民センター

沿 革

昭和 56 年地域住民の福祉増進を目的に、保健センターとの複合施設「六郷市民福祉会館」が開館し、昭和 58 年に「六郷市民センター」と名称を改め地域の社会教育活動の場として地域に定着した。平成元年には公民館としての機能が加わり、平成2年には「六郷児童館」が併設され、生涯学習の拠点として現在に至っている。

六郷地区は若林区の南東部に位置し、広瀬川と名取川の合流点を有し、昔は二浜・六村と言われ今でも往時の姿を留めて幾つかの集落に分かれ、居久根や田園・海岸には貞山堀や防砂林など自然に囲まれた昔ながらの風景が数多く残る一方で、宅地化により新しい町並みが生まれてはいるものの、急激な人口変化はなく少子高齢化が進んでいる。

平成 19 年度事業実施方針

19 年度は六郷地域の特色を踏まえて安全・安心な町づくりを推進するため、町内会及び関係機関と連携し災害時に役立つ防災関連講座を開催して、地域住民の防災意識の向上を図る。また、地域人材を発掘して六郷の歴史・自然・農業等を学ぶ講座の企画や、地域住民が市民センターへ何を求めているかを知るために地域懇談会を開催して、地域ニーズに沿った講座を展開する。

特色ある事業

<六郷地域防災事業>

① ねらい

地域の諸団体により防災への取り組みに差があり、災害時の指定避難所開設に関する取り決めがなされていない現状が判明。学校や町内会と調整を図りながら災害発生時のスムーズな「六郷小学校学区指定避難所」の開設・運営を目指す。

② 対 象:各町内会及び地域住民

③ コマ数, 参加延べ人数 5 回 / 207 人

④ 概 要

『六郷地域防災対策推進委員会』の設立を支援し、指定避難所の備蓄室見学や非常用トイレの組み立て、国土交通省河川国道事務所より講師を招き広瀬川の洪水対策についての講話など「地域防災講座」を実施した。

<ハートフル人形で創るハートフル六郷>

① ねらい

生きる力を地域に育み顔の見える地域作りを目指して諸団体で構成された『ハートフル六郷協議会』が、地域住民で作成したタオル人形を各団体のルートで独居老人や高齢者に配布し、地域みんなで元気な六郷にする試みとする。

② 対 象:どなたでも

③ コマ数, 参加延べ人数 5 回 / 175 人

④ 概 要

子供から大人まで地域住民が作ったタオル人形を、「六郷老人クラブ」連合会が会合で手渡し、「スポーツ少年団」と「民生委員」と一緒に高齢者宅を訪問して、「社会福祉協議会」が独居老人の配布弁当に添えて配布した。

【平成 19 年度 事業数】

家庭教育推進事業	青少年健全育成事業	成人学習振興事業	高齢者学習振興事業	地域社会教育推進事業	民間指導者育成事業	学習情報提供学習相談事業
2	4	0	3	16	4	4

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/rokugo/index.html>

若林市民センター

沿 革

当市民センターは平成3年4月に若林児童館、コミュニティー防災センターの併設施設として開館した。以来、地域の社会教育活動や福利厚生活動に活用され、親しまれて現在に至っている。管内は政宗ゆかりの史跡や商人街の歴史を伝える町名を残し、広瀬川の自然にも恵まれている。また、地域町内会等と一体となったふれあいまつりを平成6年度から、コスモスを育て、その開花時に地域住民が集うコスモスマつりを平成9年度から定例行事として開催している。

平成19年度事業実施方針

生涯学習を通じた地域づくりの拠点として市民センターが十分機能できるよう、地域の状況やニーズを的確に把握し、地域人材の育成や関係機関・団体等との連携を深めていく。加えて各種検討委員会の等の提言を受けて必要に応じて新たな手法も試みていくものとする。地区の親子対象を多く取り入れた事業を実施して市民センター利用者の拡大、交流の増大を図る。

特色ある事業

<地域のみんなど考えよう～環境の美化・花と緑いっぱい大作戦～>

① ねらい

地域に環境美化の意識を高めるとともに、地域活動に発展することを目的とする。地域をきれいにする活動を通じて感情豊かな心を養う。

② 対象 どなたでも

③ コマ数, 参加延べ人数 5回 / 49人

④ 概要

花の育て方作り、土について学び地域の幼稚園や施設に花を飾るなどの明るい町づくりを行う。又市民センターの生け垣や庭木を教材にした剪定学習や、センター前の道路沿いに地域の団体と連携して花を植えるなど花と緑の地域づくりを広めた。

<メッチャ楽しい広瀬川>

① ねらい

共通資源を持つ対岸の市民センターとの連携し、地域の学習資源「広瀬川」を教材に、自然を守る大切さや川辺の素晴らしさを、交流を深めながら学ぶ。

② コマ数, 参加延べ人数 1回 / 41人

③ 概要

対岸にロープや発泡スチロールなどで橋を架けた後、浅瀬の川を親子で渡るなどの体験学習を行う。自然の素晴らしさや怖さを学ぶ機会とし、広瀬川南岸八本松との交流の場を提供。

【平成19年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
3	5	2	2	8	2	4

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/wakabayasi/index.html>

沖野市民センター

沿 革

当市民センターは、平成3年4月、児童館・老人福祉センター及びデイサービスセンターとの複合施設としてオープンした。平成4年、センター前広場には、芝生と多種の木が植えられ「光と風」を設計コンセプトとした豊かな広場を持つ市民センターとして、地域住民の憩いとふれあいの場所として利用されている。

地域住民の生涯学習活動に対する関心は高く、また自主サークル活動も盛んであり、その利用者数は年々増加の傾向にある。

平成19年度事業実施方針

「地域と共に歩む市民センター」をめざし事業を展開してきたところであるが、19年度はさらに町内会、学校等の各地域団体と連絡を密にしながら「地域住民参画による地域住民のための生涯学習の提供」を基本理念として、市民が学んだ成果を社会に生かすことが出来るよう事業を推進すると共に、地域住民の学びの活動を通じて地域づくりの確立を支援していく。

特色ある事業

<めぐりあい沖野七夕ストリート>

① ねらい

沖野七夕まつりを通して、地域間連携による地域活性化の促進及び子どもの健全育成に寄与し、地域や商店会発展の一助とする。又、地域住民に潤いを与え、伝統的な仙台七夕まつりを次世代に継承する。

② 対象 : 子ども会のリーダーと役員・青少年・地域住民

③ コマ数, 参加延べ人数 2回 / 78人

④ 概要

1回目 「仙台七夕の由来」についてのおはなしと七夕七つ飾り作り

2回目 「仙台七夕七つ飾り」についてのおはなしと七夕七つ飾り作り・ミニ七夕の完成

<市民企画講座 見たい・知りたい沖野界隈>

① ねらい

地域の史跡を探訪し歴史を学習することを契機に、自分達の暮らす町を見直すスタートとする。郷土愛を育むことにより地域活動を活発にする力を養う。又史跡マップを作成し地域住民に広める。

② 対象 : どなたでも30人

③ コマ数, 参加延べ人数 6回 / 95人

④ 概要

1～2回目 地域を歩きながら、地域の生活環境を考えると共に、地域の史跡の現地見学と講話その後地域授産施設の交流を兼ねた昼食会

3回目 地域の史跡をマップとして残す作業の会議

4～6回目 地域の史跡のマップ作成

【平成19年度 事業数】

家庭教育推進事業	青少年健全育成事業	成人学習振興事業	高齢者学習振興事業	地域社会教育推進事業	民間指導者育成事業	学習情報提供学習相談事業
2	4	1	2	13	3	3

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/okino/index.html>

太白区中央市民センター

沿 革

太白区中央市民センターは、平成 11 年 6 月長町商店街の中核をなす JR 長町駅前に太白区文化センター、太白図書館、太白区中央児童館及び太白区情報センターからなる複合施設として開館した。JR 長町駅前と国道旧4号線沿道という立地条件に恵まれ、バスや地下鉄などの公共交通機関の利便性に優れているため、近隣の広い地域の市民が学習活動に利用している。

当市民センターの周辺地域は、昔から仙台市南部地域における商業の中心として活況を呈してきた歴史のあるところであるが、近年においては地下鉄沿線の開発が著しく、大規模小売店の進出やマンション建設が進み、また、JR 東北本線の高架化や JR 長町駅の移設に伴う新駅の開通などに伴い、長町地区の交通の利便性が更に増し今後大きく変貌を遂げようとしている。

平成 19 年度事業実施方針

「まちづくりを支える人づくり」を事業運営の基本に据えて、もっとも身近な公共の生涯学習施設という利点を生かしながら、市民センター事業に対する市民参画や市民協働をより一層推進し、市民が主体的に関わる事業を着実に展開するものとする。また「学校や地域との連携を図る事業」「市民が学んだ成果を地域社会に生かすことができる事業」「市民参画型事業」「懇談会、事業運営懇談会等」の 4 つの全市重点事業に対応する事業を実施する。

特色ある事業

<あなたの番組をオン・エア>

- ① **ねらい**
学校外体験活動として、平成 19 年 9 月に開局したエフエムたいはくでラジオ局の仕組みを知り、不特定多数の方々へメッセージを伝えることで言葉の大切さや重要性を学ぶ。
- ② **対象** 小学 4 年生～6 年生 10 人
- ③ **コマ数、参加延べ人数** 3 回 / 28 人
- ④ **概要**
 - 1. コミュニティー放送局エフエムたいはくの目的、番組制作について
 - 2. パーソナリティーの仕事 アナウンス練習・企画の話し合い
 - 3. 原稿と音楽をまとめ、生放送「ほっと・すてーしょん」に出演

<四季を楽しむ！遊ぶ！おやこのマップづくり>

- ① **ねらい**
地域にある四季の自然を五感で感じながら交流をはかる主催事業「四季のさんぽみち」にて学んだ成果をいかし、身近な地域の特色をいかした遊びのマップを製作し地域へ発信する。
- ② **対象** 成人 10 名
- ③ **コマ数、参加延べ人数** 6 回 / 48 人
- ④ **概要**
参加者で身近な公園や親子で遊べるマップを作成するために、地域の情報収集やマップの構成等を検討し作成する。完成したマップを地域公共施設等に配布。

【平成 19 年度 事業数】

家庭教育推進事業	青少年健全育成事業	成人学習振興事業	高齢者学習振興事業	地域社会教育推進事業	民間指導者育成事業	学習情報提供学習相談事業
4	3	5	5	7	4	4

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/futochu/index.html>

中田市民センター

沿 革

昭和 44 年 10 月, 当市民センターの場所にあった中田中学校が移転し, その旧校舎の一部と体育館を改築して, 仙台市の 5 番目の公民館として開館した。その後, 施設の老朽化により, 昭和 56 年 4 月に本館が鉄筋コンクリート二階建てに新築され, 昭和 63 年には体育館も多目的利用室を併設した体育館に生まれ変わった。平成元年 4 月に「市民センター・公民館」と改称され, 翌年 4 月には「中田市民センター」と改称された。

当市民センターは, 平成元年度から太白区内市民センター13 館の拠点館として, 中田地区ばかりでなく区全体の生涯学習推進の重責を担っていたが, 平成 11 年 6 月, 新たに開館した太白区中央市民センターにその役割を移管し, 以降地区館として事業を展開している。

平成 19 年度事業実施方針

町内会など地域活動も盛んな地域特性を土台にして, 転入者と旧住民が一体となって活動できる場を提供する。また, 近隣の保育所・児童館他, 小中学校とも更に連携を深めながら地域課題を共有し, 特に子どもへの適切な関わりを学べる事業など地域全体で子どもの健全育成に関わる事業を展開する。

特色ある事業

- <市民企画講座「学校に泊まろう」>
- ① **ねらい**
小学校体育館に泊まり, 災害時に予想される不自由な生活を体験し, 心構えを学び, 保護者や学年の違う参加者同士の交流を図る。
 - ② **対象** 小学生
 - ③ **コマ数, 参加延べ人数** 1 回 / 122 人
 - ④ **概要**
災害時の不便さを体験するために, 水とカンパンの試食と体育館での宿泊体験。消防署の職員による災害時の心得についての講話。ジュニアリーダーによるゲーム大会などの交流会
- <秋休み体験隊>
- ① **ねらい**
恵まれた自然環境や地域の体験学習に精通した人材を活用し, 体験学習を通して, 異年齢の交流と協力, 地域とのつながりを考えコミュニケーション能力を育む。また, 秋休みにおける子どもたちの居場所づくりをおこなう。
 - ② **対象** 小学生～中学生
 - ③ **コマ数, 参加延べ人数** 1 回 / 20 人
 - ④ **概要**
災害時にも役立つサバめしづくりとして, かまどづくりや火おこし, 牛乳パックと空き缶を利用した炊飯などの野外調理を実施した。

【平成 19 年度 事業数】

家庭教育推進事業	青少年健全育成事業	成人学習振興事業	高齢者学習振興事業	地域社会教育推進事業	民間指導者育成事業	学習情報提供学習相談事業
3	4	0	3	9	5	4

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/nakada/index.html>

生出市民センター

沿 革

昭和 24 年、生出村公民館として発足、生出小学校の一隅で公民館活動を行なってきた。昭和 31 年仙台市との合併により「仙台市公民館生出分館」と改称された。その間「公民館だより」71 号を発刊し、当時県下の公民館だよりの先駆的役割を果たした。

地域住民の強い要望から昭和 42 年 5 月、地域社会教育の拠点として現在地に生出公民館が建設され、事業が活発になった。昭和 55 年 5 月、地域住民から自由に利用できる体育館を併設した公民館の新設が要望されるようになり、公民館・診療所・保健センターが一体となった複合施設が完成した。10 月には第 1 回生出コミュニティーまつりが開催された。平成 2 年に市民センターに改称され、市民相互の交流と地域活動の振興の拠点として利用されている。

平成 19 年度事業実施方針

当市民センターの地域は、昔からの伝統と自然が残されている坪沼地区、かつては繁栄した旧笹谷街道沿いの茂庭地区、北東部の団地を中心とした地区で成り立っているが、少子高齢化と過疎化の進展により、地域の再生、再開発等のまちづくりが大きな課題となっている。地域の課題に基づいて地域団体や学校、近隣の市民センターとの連携を図りながら、全市重点事業及び地域課題に対する取り組みを具体化し、市民参画を積極的に組み込むように努める。

特色ある事業

- <太白山地域伝承>**
- ① **ねらい**
地域に残る伝承文化について、改めて学び、再発見することで、地域を愛し、大切に思う気持ちを養う。地域の伝承文化について、他地域の市民に広く紹介し理解を深める。
 - ② **対象** 成人
 - ③ **コマ数, 参加延べ人数** 2 回 / 44 人
 - ④ **概要**
講演と生出森八幡神社の例祭見学
生出森八幡神社副総代による伝承文化説明・御輿の名取川での禊見学
生出森八幡神楽見学と東北学院大学准教授による講話
- <坪沼っ子アントレ>**
- ① **ねらい**
純朴な子どもたちが、野菜作りを通して地域への理解を深める。商売を擬似体験することで、お金の大切さ、物を売ることのたいへんさを学びながら、子ども達自身の成長を促す。
 - ② **対象** 坪沼小学校の児童と坪沼幼児学園園児
 - ③ **コマ数, 参加延べ人数** 3 回 / 111 人
 - ④ **概要**
キャリア開発支援事業部長による米・野菜販売のリハーサル
起業活動：コミュニティーまつり出店体験
坪沼地域サポーターとの「ふりかえりとこれからについて」

【平成 19 年度 事業数】

家庭教育推進事業	青少年健全育成事業	成人学習振興事業	高齢者学習振興事業	地域社会教育推進事業	民間指導者育成事業	学習情報提供学習相談事業
2	5	3	4	12	3	3

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/oide/index.html>

秋保市民センター・馬場市民センター・湯元市民センター

沿 革

秋保市民センターは、社会教育法の制定に伴い、昭和 26 年 4 月秋保村公民館が設置され、昭和 42 年 4 月町制施行に伴い秋保町公民館、昭和 63 年 3 月仙台市と秋保町の合併により秋保公民館、平成元年 4 月に秋保市民センターと改称され現在に至っている。

馬場市民センターは、昭和 52 年 3 月旧秋保町時代に開設され、昭和 63 年 3 月仙台市と秋保町の合併により馬場公民館、平成元年 4 月に馬場市民センターと改称され現在に至っている。

湯元市民センターも昭和 53 年 3 月秋保町時代に開設され、昭和 63 年 3 月仙台市と秋保町の合併により湯元公民館、平成元年 4 月に湯元市民センターと改称され現在に至っている。

平成 19 年度事業実施方針

- ・ 秋保の持つ大きな地域資源である自然・風土を生かし、全市的な視点からも秋保の良さを実感でき、新たな行動、学習意欲に結びつく事業を企画・展開する。
- ・ 地域課題を地域の方々とともに考え、課題解決に役立つような事業企画を展開する。
- ・ 秋保地区で一番人口の多い湯元地区の方にも市民センターが身近なものと感じてもらえるよう、湯元地区での事業展開にも力を入れる。

特色ある事業

<秋保を知り、伝える「秋保郷土かるた大会」>

① **ねらい**
秋保の風土・伝統・文化をわかり易く綴ったかるたの完成を地域社会に広く知ってもらい、かるたを通じ秋保のよさを地域住民に再認識してもらう機会になるようにかるた大会を実施する。

② **対象** 地域住民

③ **コマ数、参加延べ人数** 1 回 / 136 人

④ **概要**
地元在住の講師による講演「昔の秋保の暮らし」。大会は 20 チーム(1 チーム 3 名)による勝ち抜き戦。小学生から 90 歳のお年寄りまで各地区、幅広い年齢層の参加があり、小学生チームが優勝。かるた文案採用者と大会成績優秀者への表彰を行った。

<秋保生活お助け隊検討会>

① **ねらい**
高齢化社会が進み、秋保地区では一人暮らし、高齢者世帯が増えてきている。地域の人口が減少し、個人の付き合いだけでは生活維持が困難になりつつある現状を踏まえ、地域での物理的、精神的な支えあいについて検討する。

② **対象** 成人

③ **コマ数、参加延べ人数** 7 回 / 41 人

④ **概要**
地元の社会福祉協議会会員と秋保総合支所保健福祉課による講話「秋保の高齢者福祉の現状」を聴講し、高齢者福祉をテーマとした講座について話し合い。サロン活動の支援、補助を目的とした講座を次年度開催することとなった。

【平成 19 年度 事業数】

家庭教育推進事業	青少年健全育成事業	成人学習振興事業	高齢者学習振興事業	地域社会教育推進事業	民間指導者育成事業	学習情報提供学習相談事業
3	1	8	2	11	2	4

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/akiu/index.html>

西多賀市民センター

沿 革

西多賀地区は、桜で有名な三神峯公園や富沢遺跡があり、仙台でも暖かく環境に恵まれた、住みやすい土地である。昭和50年代、福祉に対する住民の要望が多様化し、自らが福祉活動に参加する傾向が現れてきた。そのため、活動拠点となる地域の施設を求める要望が高まったことから、昭和53年仙台市として5番目の福祉会館として開設した。昭和58年、地域住民のより幅の広い利用を可能にするため、名称を市民センターと改めた。平成元年政令指定都市移行に伴い地域の社会教育充実のために公民館が組み込まれ、生涯学習の拠点として活用されている。平成3年には児童館が併設された。以後子どもから高齢者まで誰でも気軽に利用できる市民センターとして親しまれている。

平成19年度事業実施方針

- ・ 市民が様々な課題に応じて学べるように地域での子育てを支援する事業や高齢社会に向けて健康維持するための事業など、それぞれのライフステージに併せた事業を実施する。
- ・ 市民が学習に必要とする情報提供のためにセンターだよりやホームページの充実を図る。
- ・ 学んだ成果を地域に生かせるようにボランティアの支援やジュニアリーダーの育成に努める。
- ・ 市民が地域で学びの活動を広げるために積極的に地域人材の紹介や活用を推進する。

特色ある事業

<にしがたがふれあい広場～高齢者疑似体験>

① **ねらい**
 高齢化が進み、且つ核家族が多い地域の子ども達に、高齢者疑似体験をとおり高齢者の行動や気持を感じ理解することで、人に優しい街づくりを目指す。学校と連携する事で学校ぐるみの取り組みとする。

② **対象** 西多賀小学校6年生

③ **コマ数, 参加延べ人数** 5回 / 231人

④ **概要**
 西多賀小学校6年生の総合的な学習「目指せ地球人～お年寄りとともに生きる」との連携事業。耳栓や特殊眼鏡など疑似体験セットを使い80才の高齢者になったときの状態を疑似体験し、高齢者の行動や気持を考え理解を深めた。

<読み聞かせdeボランティア>

① **ねらい**
 中高校生にボランティア体験をとおして、人や社会と関わる機会を提供する。毎月開催する「おはなしひろば」で読み手ボランティアとして参加を促し、研修の成果を実践に生かせるようにする。

② **対象** 中高校生

③ **コマ数, 参加延べ人数** 7回 / 53人

④ **概要**
 読み聞かせに関する心構えや選書のポイントの講話や読み聞かせの練習実践を積み重ねた。学習の成果としてプログラムづくりも併せて3回のお話し会を開催した。

【平成19年度 事業数】

家庭教育推進事業	青少年健全育成事業	成人学習振興事業	高齢者学習振興事業	地域社会教育推進事業	民間指導者育成事業	学習情報提供学習相談事業
3	8	3	2	5	3	4

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/nisitaga/index.html>

八本松市民センター

沿 革

当市民センターは、八本松地区の国有地を取得し、昭和 59 年 9 月にコミュニティ防災センターを併設した複合施設として着工し、昭和 60 年 5 月に開館した。近辺には広瀬川が流れ豊かな自然環境に恵まれ、歴史資産として国指定を受けた郡山遺跡、北目城跡がある。長町副都心長町駅東再開発が行われ、歴史的情緒を持ち合わせつつ近代的な街並みを呈した地域である。

また、建物は敷地の有効利用と自然採光を考慮した配置で、隣接している八本松公園と一体となり自然環境に恵まれた施設である。町内会の集会や文化活動、レクリエーション、スポーツにと、子供から高齢者まで誰もが気軽に利用できる市民センターとして、地域住民に親しまれている。

平成 19 年度事業実施方針

地域とのネットワークづくりを推進するために、学校・行政・地域各団体の支援を得、協働事業を行い、環境、市民企画、安心・安全の分野に取り組む。また地域の資産を大切に育て、地域の生活と社会的・文化的発展に寄与し、地域力の強化を目指す。

特色ある事業

- <時空を超えて迎える八本松の今と昔Ⅱ>**
- ① **ねらい**
郡山・八本松地域にある郡山遺跡、北目城跡等の歴史的遺産を学び、その歴史的意味を考える機会を地域住民に提供し、町を大切に作る心や愛着心を涵養する。
 - ② **対象** 成人
 - ③ **コマ数、参加延べ人数** 3 回 / 82 人
 - ④ **概要**
郡山遺跡について：発掘の現状ならびに今後の史跡の整備に関する最新情報
北目城について：発掘の現状、北目城・仙台城との関係、太白区の発掘の概要についての講話
- <八本松広瀬川探検隊>**
- ① **ねらい**
この地域にある広瀬川の環境学習特性を活かし、川をテーマとした環境学習の充実を図り、自然を守る大切さ、人間が自然の一部として生きていることを学ぶ。
 - ② **対象** 小学生と保護者
 - ③ **コマ数、参加延べ人数** 5 回 / 114 人
 - ④ **概要**
広瀬川を歩いてわたろう：広瀬川の自然環境を学び、対岸の若林と、八本松、郡山地域の小学生の交流をはかる
川の生きものをしらべよう：現地で水質調査、魚や水生昆虫の観察、流速調査を行い川の環境保全の大切さを学ぶ

【平成 19 年度 事業数】

家庭教育推進事業	青少年健全育成事業	成人学習振興事業	高齢者学習振興事業	地域社会教育推進事業	民間指導者育成事業	学習情報提供学習相談事業
2	4	4	2	12	6	5

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/hachihonmatsu/index.htm>

八木山市民センター

沿 革

八木山地区は仙台市南西部に位置し、昭和30年代後半～40年代中頃にかけて整備・開発され、豊かな自然との調和のとれた住宅地であると同時に、八木山動物公園や八木山ベニーランドなどのレクリエーション施設がある。このような環境の中、八木山市民センターは市民の自主活動及び生涯学習の拠点施設として、昭和62年4月6日に開館し、地域住民に広く利用されている。

また、ボランティア活動も活発で市民センターを拠点として活動しているグループの活動は特筆すべきものがある。一方、65歳以上の人口比率が平成19年度には25.9%になり、仙台市内でも高齢化が急速に進んでいる地域である。平成27年開業予定の地下鉄東西線の西の起点(動物公園駅)となることから、今後は地区全体の大きな変貌が予想される。

平成19年度事業実施方針

- ① 学校や地域との連携を図る事業：
 - 八木山地区の2社会学級との連携事業「手をつなごう！やぎやまネットワーク」
 - 八木山動物公園と八木山ベニーランドとの共催イベント「秋の八木山フェスタ」
- ② 市民が学んだ成果を地域社会に活かす事業：図書室のボランティアのスキルアップと新規のボランティアの養成を目的とした「図書ボランティア養成講座」
- ③ 市民参画型事業：中高生の企画員募集「若い力で八木山を元気にしよう！」

特色ある事業

- <八木山を防災する '07>**
- ① **ねらい**
地域防災の主体者である町内会と収容避難所として機能発揮を期待される市民センターが協働して、地域の中学校にも働きかけ、若者参加型の自主防災を構築するため企画会議を開催した。
 - ② **対象**：地域団体や住民
 - ③ **コマ数, 参加延べ人数** 7回 / 242人
 - ④ **概要**
・防災活動の具体案を検討し、講座を企画した。
・防災イベントを企画し、活動の有効性を検証・チェックした。
・地域に活動記録の報告を行い、その有効性を連合町内会他、関係先にPRした。
- <笑顔で子育て 【託児・手話通訳付】>**
- ① **ねらい**
「仙台市すこやか子育てプラン第3期行動計画」に基づき、地域における子育てを考える。ダウン症児の子育てを応援する会「キッズ・パワー」と連携し、企画会議を通して障がい児に対する理解とともに子育てを楽しめる講座を実施した。
 - ② **対象**：子育て中の親子
 - ③ **コマ数, 参加延べ人数** 5回 / 194人
 - ④ **概要**
(ア) 親子で楽しむ(楽器を使った遊び, リズム体操, おはなし会)
(イ) 親対象(食育を考える, 子育ての悩みを話し合おう)

【平成19年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
3	5	5	2	9	4	4

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/yagiyama/index.html>

山田市民センター

沿 革

当市民センターは、コミュニティー防災センターを併設して昭和 62 年に開館した。近隣には大規模な開発によってできた団地群をかかえ、藩政時代に造られた杉土手などが現存する自然にも恵まれた環境にある。また、地域の文化・スポーツ・コミュニティーの場として広く利用されているほか、太白消防署や釣取球場と隣接し、コミュニティー防災センターが併設されていることにより、災害等から地域住民の財産や生命の安全を守る重要な役割も担っている。

地域住民のまちづくりや生涯学習に対する関心は高く、今後とも住民の多様なニーズに応え、生涯学習の場、コミュニティーづくりの場として地域活動の中心的な役割を果たすため、地域の自然や歴史などの特性を生かしながら、事業展開を図っている。

平成 19 年度事業実施方針

- ・センターだよりを活用し地域の活動拠点としての情報収集・発信に努める。
- ・核家族化や高齢化に対応し、自主的に生きがいを見つけられるような学習の機会を提供する。
- ・ボランティアや民間指導者を育成するとともに、その活動を支援する。
- ・地域の施設・団体・サークルなどとの情報交換や連携を図り、地域の学びの活動を広げる。

特色ある事業

- <ボランティア養成講座「童謡を歌い継ぐために」>**
- ① **ねらい**
親から子、孫へと歌い継がれていた童謡、唱歌を口ずさむ機会が少なくなった昨今、童謡を歌うことを介して、心豊かな暮らしを考える契機とする。また地域に広げるボランティアグループを結成し、高齢者の生きがいつくりに資する。
- ② **対象** 成人
- ③ **コマ数, 参加延べ人数** 8 回 / 134 人
- ④ **概要**
・講師による童謡・唱歌の実技指導。歌うための呼吸法の学習。
・発表会のための練習。季節の歌の練習。
・ボランティア活動についての話し合い。
- <山田ひとりぐらしおたすけ隊>**
- ① **ねらい**
高齢者が安全でいきいきとした生活を送るために、地域ぐるみで支えあえるしくみを作る。地域の課題を知り、地域の力で解決する方法を考えることで、地域の支え合いの形成に繋がる。
- ② **対象** 成人
- ③ **コマ数, 参加延べ人数** 5 回 / 39 人
- ④ **概要**
地域の高齢者の状況を把握し、地域としてできることについて話し合う。出された意見の中から精査し、「山田ふれあいサロン」「地域情報紙発行」を実施する。

【平成 19 年度 事業数】

家庭教育推進事業	青少年健全育成事業	成人学習振興事業	高齢者学習振興事業	地域社会教育推進事業	民間指導者育成事業	学習情報提供学習相談事業
2	3	3	3	9	4	4

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/yamada/index.html>

茂庭台市民センター

沿 革

茂庭台地区は仙台市西部で青葉区に隣接し、西道路を利用すれば市内中心部まで約 20 分の距離に位置する。当センターは昭和 63 年 4 月にコミュニティ防災センターとともに設置され、平成元年 4 月から地域社会教育の拠点として公民館事業が開始され、平成 2 年から児童館が併設された。近隣には高層マンションや多くの福祉施設があり、周辺の自然環境と調和し地域コミュニティの場となっております。高齢者、子ども、福祉施設の方々、外国人居住者の利用も多く生涯学習の輪も広がっております。また、地域住民、各種団体と市民参画に沿った地域性を生かした事業、地域人材を活用した講座や地域課題に即した講座も開催しております。

平成 19 年度事業実施方針

- 1, 地域課題の把握により外国人の言語指導, 高齢者の健康講座, 児童館との共催事業の推進
- 2, 近隣の市民センターと協同し, 市民からの学習相談及び, より良い学習情報を提供していく
- 3, 地域課題に即したボランティア活動を目標とした講座を開催し地域に学習成果を還元する
- 4, 地元人材を活用し, 地域各団体との共催により, 各世代対象の事業を展開する
- 5, 町内会連合会, 各種団体, 利用者代表と事業運営懇談会を開催し, 質の高い事業運営を行う

特色ある事業

<音楽のある街茂庭台ふれあいコンサート>

① **ねらい**
 地域住民が「ふれあいコンサート」を企画運営し、音楽を通して住民の交流と地域の活性化を図ることを目的とする。

② **対象** 成人

③ **コマ数, 参加延べ人数** 3 回 / 130 人

④ **概要**
 企画員が個性豊かな発想と経験を生かして「夕涼みコンサート」「ロビーコンサート」「クリスマスコンサート」を開催し、地域の方が気軽に音楽を楽しみ交流が図られた。

<太白山ネットワーク「不思議な山太白山」>

① **ねらい**
 4 館連携事業の一環として、企画員及び市民センター職員が協同し、企画運営を行う。地元歴史家を講師に、地域の自然資産である太白山の歴史等について学び、登り、検証することで、地域の多くの人々がその魅力を再発見し、より愛着を持つことを目的とする。

② **対象** 成人

③ **コマ数, 参加延べ人数** 2 回 / 44 人

④ **概要**
 講話「太白山にまつわる歴史」と題して、庶民信仰の山として太白山の歴史を学んだ。
 実技「歴史をたどりながら太白山登山」
 企画員は実技をもとに茂庭台ルートの登山マップを作成し、4 館連携事業で発表した。

【平成 19 年度 事業数】

家庭教育推進事業	青少年健全育成事業	成人学習振興事業	高齢者学習振興事業	地域社会教育推進事業	民間指導者育成事業	学習情報提供学習相談事業
5	1	2	3	13	5	2

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/moniwadai/index.html>

東中田市民センター

沿 革

東中田市民センターは、平成元年4月に児童館、保健センター、コミュニティ防災センターを含む複合施設として開館した。太白区の東南に位置するこの地域は、名取川の豊かな流れが太平洋に注ぐ河口に近く、今なお屋敷林のある民家が点在するなか、高層の市営アパートも建設され、著しい人口の増加が見られる地域である。

当市民センターは、地域のコミュニティ、文化、スポーツ、そして憩いの場として幅広い年齢層に利用されている。生涯学習事業においても、地域の特色を活かし、児童館や保健センターとの連携を図りながら、複合施設ならではの利点を活かした事業展開を目指している。

平成19年度事業実施方針

利用者の固定化の傾向が見られる現在、2007年団塊の世代が大量に定年を迎えるにあたり、これまでの利用者も含めた幅広い年齢層に受け入れられるような事業を、企画実施していきたい。

特色ある事業

<地域美化大作戦—花いっぱいになあれ—>

① **ねらい**
犬を散歩させる人の糞処理の悪さが目立つこの地域を、糞害のないきれいな街にするために、まず「花の市民センター」を目指し、地域全体の美化を図る。

② **対象** 一般 20人

③ **コマ数, 参加延べ人数** 5回 / 51人

④ **概要**
ボランティアグループと共に、一年を通してプランターに花の種や苗を植える。咲き終えた花から種を採り、市民まつりで配布する。

<子ども福祉体験講座>

① **ねらい**
福祉活動の体験を通して、高齢者や障害者にやさしい街づくりとなるよう、子どもたちに考えてもらう機会を提供する。また、学校と連携することにより、地域ぐるみの活動へと導く。

② **対象** 小学5～6年生 20人

③ **コマ数, 参加延べ人数** 2回 / 27人

④ **概要**
講話・実技「キャップハンディ体験」…ハンディのある方に対する正しい理解を持ってもらうことをねらいとし「車椅子体験」「目隠し体験」をする。

実技「介助体験」…施設利用者の通所時のサポートやゲームを通してのふれあい。

【平成19年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
5	5	2	3	8	1	4

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/higashinakada/index.html>

柳生市民センター

沿 革

当市民センターは、平成9年4月住宅地・商業地として発展著しい市内最南端部柳生に、市内52番目の市民センターとして児童館・コミュニティ防災センターを併設して開館した。
 当地域は、自然環境に恵まれ、柳生和紙など伝統工芸も残されている。一方太白大橋の開通によりマンション・大型店舗などの建設が著しく急激な都市化が進んでいる。したがって、若年層の世帯が比較的多い地域である。
 こうした地域の特性と施設の機能を活かしながら、住民の高度化・多様化した生涯学習の地域拠点として各種事業を展開し、地域のコミュニティ・住民の自主的活動の場としての役割を担っている。

平成19年度事業実施方針

管内の小中学校・各種団体との連携事業を継続するとともに、乳幼児・児童の多い地域であることから子育てや子育て支援事業を展開していく。また今後の高齢化を考慮し介護予防や介護問題にも取り組んでいく。一方で若い世代や勤労者が多いところから、参加を促進するために夜間・土日曜の成人を対象とした事業も視野に入れて展開したい。

特色ある事業

- <柳生こども塾ミュージックベル講座>**
- ① **ねらい**
 柳生小学校で放課後の居場所作りとして自主学習を開催している「柳生こども塾」を市民センターを会場としてミュージックベル講座を開催し、オータムコンサートや地域の施設などで演奏発表する。
 - ② **対象** 青少年
 - ③ **コマ数, 参加延べ人数** 8回 / 240人
 - ④ **概要**
 ミュージックベルの演奏の楽しさと演奏技術を学び、オータムコンサートと地元老健施設からの、演奏依頼があり演奏披露をおこなった。
- <和紙の里のページェントⅡ>**
- ① **ねらい**
 柳生和紙の保存・普及をめざす地元の市民団体「柳生和紙プロジェクト」とともに、和紙を通して柳生を知る講座とする。小中学校と連携することにより和紙で作ったランプを一同に集めて展示することができ、地域住民との交流の活性化を図る。
 - ② **対象** 地域
 - ③ **コマ数, 参加延べ人数** 1回 / 140人
 - ④ **概要**
 柳生和紙のランプの灯りのなかで、紙漉き唄・民話の語り・民謡・合唱・和太鼓の演奏などを披露した。

【平成19年度 事業数】

家庭教育推進事業	青少年健全育成事業	成人学習振興事業	高齢者学習振興事業	地域社会教育推進事業	民間指導者育成事業	学習情報提供学習相談事業
2	8	2	3	10	2	3

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citezen/WebPages/yanagiu/index.html>

富沢市民センター

沿 革

富沢市民センターは、平成13年11月、地下鉄富沢駅近くにコミュニティ防災センターを併設し開館した。
 富沢地区は、名取川・JR東北本線・国道286号線に囲まれた地域で、中央部を笹川が流れ、富沢・大野田遺跡のある田園地帯であった。地下鉄開業以来は、交通の利便性から宅地化が進み、高層マンションと昔ながらの農地が混在する地域である。単身世帯・核家族世帯が多く、住民の転出入の頻度も高い。
 当市民センターは、市民が気軽に利用できる共有スペースとして親子室・娯楽室・図書室やラウンジを有し、年間を通し多くの地域住民が来館し、生涯学習拠点として活用されている。

平成19年度事業実施方針

1. 市民がライフステージごとの必要課題や時代に即した新しい課題に対応できる事業を行う。
2. 地域づくりの拠点として、地域の情報を収集し、また様々な情報を提供する。
3. 18年度実施の評価・反省をもとに、市民が企画・運営する講座を実施する。
4. 「ラウンジコンサート&サークル展示会」を「市民センターまつり」と改称し、地域住民の交流とコミュニティづくりの一層の促進を図る。

特色ある事業

<地域歴史講座～ふるさとの遺跡>

① **ねらい**
 富沢駅周辺は古墳・遺跡が多く確認されていることから、市内でも古代歴史のある地と言われている。とくに古代から中世代の発掘された遺跡や出土品などからわかかったことを学び、地域への関心を高めることで、郷土への愛着を育む。

② **対象** 成人

③ **コマ数, 参加延べ人数** 4回 / 154人

④ **概要**
 市民企画講座として、地域の特色を知り、理解を深める講座を企画・開催した。近隣で発掘調査中であったことも加わり、仙台市文化財課の協力を得て、講話のみではなく、現地説明会や出土品に触れるなどのたいへん貴重な体験を交えた充実した講座となった。このあと、「郷土を愛する歴史の会」を発足し、より深く掘り下げた学習を続けている。

<とみざわ子育てセミナー>

① **ねらい**
 核家族や転出入者が多い地域において、育児不安をかかえている若い親たちが、専門家のアドバイスを参考に親子の関わりかたを学び、仲間づくりを行うことで、家庭教育を充実させる支援をしていく。

② **対象** 4ヶ月児～未就園児までの子と親

③ **コマ数, 参加延べ人数** 7回 / 322人

④ **概要**
 子どもの発達段階に応じた課題に沿って、多岐にわたる講座を実施した。「親子でスキンシップ」(乳児)「手遊び」(幼児期の歯とおやつ)「体育館であそぼう」(1～3歳児)「3歳児のこころとからだ」(入園前児)「手作り人形劇」鑑賞などを通し、意識啓発につなげることができた。また講座終了後、2つの親子サークルが結成され、当センターを拠点として、自主活動を行っている。

【平成19年度 事業数】

家庭教育推進事業	青少年健全育成事業	成人学習振興事業	高齢者学習振興事業	地域社会教育推進事業	民間指導者育成事業	学習情報提供学習相談事業
4	4	7	1	5	4	4

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/tomizawa/index.html>

泉区中央市民センター

沿 革

昭和 22 年 9 月、七北田中学校内に七北田公民館として開設され、昭和 43 年 7 月には市名坂字東裏の現在地に移転し、今日まで泉区の生涯学習の拠点として、その役割を担ってきている。平成 16 年 1 月、施設の老朽化と機能拡充の必要性から改築され新館としてオープンした。

当地域は従来の歴史的・文化的要素が残されている七北田地区と仙台市の副都心として急速に発展した泉中央周辺の都市化との混在する地域であり、住民を取り巻く学習環境は大きく変化しつつある。このような状況の中、現代社会に対応した生涯学習事業の展開を図るため、市民センターとしての機能がますます重要になってきている。

平成 19 年度事業実施方針

当地域は豊かな自然と歴史に恵まれたエリアであるが、マンション建設が進み急激な人口増加や転入者の多い地域である。センターの利用状況も多岐に渡り、稼働率も高い。これまでも市民や地域団体とのパートナーシップを大切に、市民の自発的・積極的な活動の支援に力を入れ地域に根ざしたセンターを目指し推進してきた。今年度は更にパートナーシップを推進するために団体・学校・地域との連携を図り市民が学んだ成果を地域に生かせるよう生涯学習環境を整備していく。

特色ある事業

<平成風土記～いずみ～>

① ねらい

急激な人口増加に伴い、忘れ去られようとしている貴重な史跡・文化遺産など郷土史の学習を通し郷土理解を深める。さらに郷土料理や伝統行事に触れることで世代を越えて住民同士の交流と親睦を図る。

② 対象 成人

③ コマ数, 参加延べ人数 8 回 / 149 人

④ 概要

地域の歴史ガイドボランティアや JA(農協)婦人部を講師に迎え、「泉」の貴重な史跡・文化遺産などの郷土史を座学と館外で学び、伝統行事を季節の郷土料理実習を通し学び、郷土理解を深める。

<学生企画会～地域の安全・安心編～>

① ねらい

泉地区に住んでいる又は通学している大学生・専門学生が災害時には何が必要とされ、何が出来るかを探ることにより、地域をより深く知ってもらい、その時の為の備えとする。又、地域で役立つ「何か」を作る支援をする。

② 対象 大学生・専門学生

③ コマ数, 参加延べ人数 21 回 / 228 人

④ 概要

学生が地震災害について学び、地域で役立つ講座『「じしん」って知ってる?! 地震への自信』を企画実施。公的機関や地域の防災団体と連携し、「生き残る・生き延びる」をテーマに地域住民と共に災害時の対応を学ぶ。

【平成 19 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
6	3	3	2	5	0	2

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/izuchu/index.html>

根白石市民センター

沿 革

昭和 38 年以來の根白石公民館が老朽化し、昭和 62 年度現在の地に新築移転して翌年 4 月に開館した。平成元年 4 月根白石市民センターが併設され、平成 2 年 4 月根白石市民センターと改称し、地域住民の身近な交流の場、生涯学習の場として利用されてきた。299 席の移動式観覧席を備えたホールが特色である。

平成 19 年度事業実施方針

当市民センターは泉区西部地区に位置し、泉ヶ岳を背景に豊かな自然環境に恵まれている。周辺は古くからの田園地域と近年の開発による住宅地からなる。来館者の構成は最近では公民館時代から利用してきた地域住民に加え、新興団地の住民が増えている。恵まれた自然や地域の伝統、ならびに人的交流を活かした各種事業を展開してきたが、今後も更に地域住民や学校、町内会、商工会などと連携を図りながらそれぞれの特性を活かして、地域のコミュニティーの発展に協力していく。

特色ある事業

<スローライフをはじめませんか 手づくり保存食>

① **ねらい**
根白石地域の資源を最大限に利用し、自分で育てた野菜を収穫する喜びを味わい、自然の素晴らしさや土の温かさを知る。保存食を作ることにより、昔からの、手間をかけて物を作る習慣とその良さを再認識する。

② **対象** 成人 15 人

③ **コマ数, 参加延べ人数** 15 回 / 216 人

④ **概要**
春にじゃがいも、かぼちゃ、しそ、さつまいも、らっきょうを作付けし、ジャガイモもち、かぼちゃもち、しそみそ、ラッキョウ漬けなどの保存食を作った。夏には大根、白菜、聖護院蕪を作付けし、大根のピクルス、白菜キムチ、千枚漬けなどの保存食を作り、家庭に持ち帰って、スローライフの良さを伝えた。

<伝統七夕づくり>

① **ねらい**
根白石に伝わる伝統的なミニ七夕飾りを地域住民の講師によりすべて手作りし地域のコミュニケーションを図るとともに、出来上がった飾りを市民センターに飾ることで地域住民にセンターに足を運んでもらえ、住民同士やセンター職員とも交流がもてる。

② **対象** どなたでも 20 人

③ **コマ数, 参加延べ人数** 4 回 / 20 人

④ **概要**
鉢植えの竹に昔ながらのミニ七夕飾りをかざるのが根白石地区の伝統飾りでその由来などを講師から聞きながら、3 回にわけて七夕飾りを作成した。

【平成 19 年度 事業数】

家庭教育推進事業	青少年健全育成事業	成人学習振興事業	高齢者学習振興事業	地域社会教育推進事業	民間指導者育成事業	学習情報提供学習相談事業
1	5	7	2	5	0	4

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/webpages/nenosiroisi/index.html>

南光台市民センター

沿 革

昭和 52 年 4 月、南光台公民館として開館し、その後、平成 2 年 4 月に南光台市民センターと改称され、地域住民の交流の場・生涯学習の場として、その役割を担ってきた。
また、昭和 62 年 8 月に泉図書館南光台分室がセンターに併設された。

平成 19 年度事業実施方針

住宅団地開発後 45 年以上経過し、急速に住民の高齢化が進んでいる。一方ではマンション建設により若年層の増加傾向も見られる。生涯学習社会が叫ばれている今日、仙台市市民センター運営方針をふまえ、「市民が学んだ成果を地域に生かすことができる事業」を中心にこれまで以上に地域団体との連携を強化し、「地域に親しまれる市民センター」として地域活性化に取り組んでいく。

特色ある事業

<南光台赤ちゃんひろば>

① ねらい

企画会議「ママ企画Ⅱ」からの実施講座。南光台の子育て世代は地域や子育て、特に乳児との関り方を欲しており、センターに集うことで若い母親達に地域の子育ての情報や安心感を提供することを目的とする。

② 対象 1 歳位までの親子

③ コマ数、参加延べ人数 4 回／107 人

④ 概要

人形劇とパネルシアターによるおはなし会、わらべうたであそぼうをテーマにわらべうたと昔あそびの紹介や手遊びを中心とした親子遊び。最終回はお茶を飲みながら親子で交流会を行った。

<キッズクッキング>

① ねらい

子どもが家庭や学校から離れた環境で、食事を作ることで、「作る楽しさ」「食べる楽しさ」を経験する機会を提供する。また、地域の大人が講師とサポーターとして関り世代間交流を図る。

② 対象 小学 3 年～6 年生

③ コマ数、参加延べ人数 4 回／75 人

④ 概要

調理を中心に、トマトパスタやきのこの炊き込みごはん、ほうれん草のごま和えなど、各季節の野菜を使ったメニューと子ども達の人気のメニューも加え、献立にも工夫をこらした。

【平成 19 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
4	4	4	2	6	3	2

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/nankodai/index.html>

黒松市民センター

沿 革

昭和47年4月に開設の八乙女公民館を前身とし、平成4年10月移転新築により、拡充され「黒松市民センター」として、地下鉄黒松駅に隣接する現在地に開館した。
当市民センターは地域における生涯学習の拠点として、又、交通の利便性により、広域からの施設利用者にも活用されている。

平成19年度事業実施方針

黒松市民センターは、地域における生涯学習の拠点として住民の学習を支援し、地域活性化事業に取り組みコミュニティづくりに寄与する。「開かれた市民センター」「魅力ある市民センター」として、利用満足度の向上を目指すとともに、新規利用者の掘り起こしや利用者層の拡充に向けた講座の企画を工夫する等、社会の変化に対応するテーマの問題提起をし、地域密着化・活性化につなげる。

特色ある事業

<「メタボリックシンドローム」脱却作戦！>

① **ねらい**
メタボリック予防のため、生活習慣を見直し、不規則な生活改善と健康を自分の努力でつくるための意識付けとする。また、健康に関する情報発信者としてセンターまつり等で連携機関と共に普及活動を行う。

② **対象** 40歳以上

③ **コマ数, 参加延べ人数** 5回 / 73人

④ **概要**
アンケートを記入しながら生活を振り返り、無理なく運動習慣をつけるための運動と外食やおやつを取り方を学んだ。最後に日常の生活の中で意識していたこと等を全員で振り返り、その体験等を泉区家庭健康課と共にセンターまつりで地域に発信した。

<地震防災プロジェクト～その時わたし達にできること～>

① **ねらい**
地震が発生した時に適切な対応や処置ができるよう、中学生が地域の協力を得ながら、防災の基本を学ぶ。

② **対象** 八乙女中学校生徒

③ **コマ数, 参加延べ人数** 1回 / 667人

④ **概要**
中学生が3年間の在学中に防災の基本を一通り学べるよう、学年別に1年生はダンボールで避難所体験、2年生はバケツリレーと消火器訓練、3年生は応急手当と毛布搬送を、旭丘つつみ町内会と泉消防署南光台主張所の協力のもと訓練した。

【平成19年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
6	3	4	2	6	2	4

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/kuromatsu/index.html>

将監市民センター

沿 革

昭和 47 年 11 月、将監団地の開発・発展を背景に地域住民の交流の場を「将監会館」として開館した。昭和 53 年 4 月、新たに地域生涯学習の拠点施設として名称を「将監公民館」に改め、昭和 54 年 6 月には研修室棟も竣工し施設の拡充が図られた。その後、仙台市との合併に伴い、平成元年4月から「将監公民館・将監市民センター」となり、翌年 4 月「将監市民センター」と改称された。

平成 3 年度には、施設の大規模な改築が行われ、平成 4 年 4 月新装開館し現在に至っている。当センターは、軽スポーツ活動が可能な多目的ホールを有し、多くの人々に利用されている。

平成 19 年度事業実施方針

1. 成人向け講座、青少年・家庭教育等の事業を織り交ぜ、幅広いジャンルで事業展開する。
2. 地域の人材情報・学習情報を収集・発信し、情報提供の充実を図る。
3. 地域資源を有効に活用し、地域の各種団体との連携を図り、地域の活性化を促す。
4. 家庭教育・環境・防災等現代的課題に対応する為、学校・地域との連携を図り活性化を促す。
5. 地域団体と幅広い意見交換をし、身近な課題を把握・分析し今後の事業企画に取り入れる。

特色ある事業

<グランドゴルフ大会に集まれ>

① ねらい

将監地域は高齢者世帯と若い親子世帯が共存しているが、世代間交流の機会が少なく交流が難しい状況にある。児童館との4館共催で地域の誰もが気軽に行事に参加できる機会を提供し、地域の活性化と世代間交流を図る。

② 対象 地域の子ども・高齢者

③ コマ数, 参加延べ人数 1回/55人

④ 概要

11/17(土)に地域の子どもから高齢者までが集い、グランドゴルフ大会を開催した。児童館・児童センター・市民センターが協働し、地域の世代間交流が図られた。

<歴史探訪－故郷いずみの神社を訪ねて－>

① ねらい

地域の歴史の知識を深めることで、地域の良さを再発見し、地域への愛着を深める。

② 対象 成人

③ コマ数, 参加延べ人数 4回/74人

④ 概要

- ・6/20(水):講話「いずみの歴史と、上谷刈・根白石の歴史について」
- ・6/27(水):地域館外学習「上谷刈方面の神社・石碑の学習」
- ・7/ 4(水):地域館外学習「根白石方面の神社・石碑の学習」
- ・7/11(水):講話「学習成果のまとめ」

【平成 19 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
3	4	5	2	7	1	4

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/syogen/index.html>

加茂市民センター

沿 革

昭和 58 年 4 月、加茂体育館と併設された加茂公民館として開館した。その後、仙台市と泉市の合併や公民館と市民センターの併設を経て、平成 2 年に現在施設名に改称。平成 10 年には併設の加茂体育館が編入され、現在に至っている。開館当時は長命ヶ丘・泉中山の区域まで対象としていたが、平成 5 年 4 月の長命ヶ丘市民センターの開館に伴い、現在は虹の丘・加茂・上谷刈・みずほ台を対象としている。

当市民センター周辺には賀茂神社や古内志摩の墓、中世の館跡である長命館公園などが点在しており、また七北田川や丸田沢堤などの自然環境にも恵まれている。

平成 19 年度事業実施方針

加茂・虹の丘両団地では高齢化が高まる一方、地下鉄八乙女駅に近い上谷刈・みずほ台地区では集合住宅の割合が多く若い年齢層が増加している。平成 19 年度はこうした地域状況の変化に対応するとともに「全市重点事業」・「市民参画の推進」及び行政施策を念頭におき、地域団体との共催、及び学社連携事業の実績をもとに、さらに強固な関係を推進し「地域に根ざした、魅力のある、開かれた市民センター」の実現を構築する。

特色ある事業

- <長命館公園の四季を楽しむ～春編・秋編>**
- ① **ねらい**
身近にある「長命館公園」の魅力を再発見し、地域への愛着をもってもらうとともに、公園を媒体として地域コミュニケーションの活性化を図る。
 - ② **対象** 成人
 - ③ **コマ数, 参加延べ人数** 2 回 / 26 人
 - ④ **概要**
地域のボランティア団体である長命館公園サポーターズクラブの方を講師として、春の桜・カタクリの群落などの鑑賞会、秋には中世に遡る歴史講話と紅葉の散策会を実施した。
- <加茂中学校区青少年健全育成推進協議会との共催事業>**
- ① **ねらい**
当センター区域内の各種団体等で組織される本協議会と共催することにより各地区との関係や結びつきの強化を図り、センターとしての「人づくり、まちづくり」の一翼を担う。
 - ② **対象** 加茂中学校区の地域住民
 - ③ **コマ数, 参加延べ人数** 1 回 / 29 人
 - ④ **概要**
思春期の子ども達の育て方や対応が問われている昨今、こうした問題の解決方法の一つとして助産師であり県の思春期保健相談員でもある八幡悦子氏を講師として「青少年の性および思春期の対応について」というテーマで講演会を催し、子どもの豊かな成長や親子の絆を育むためにはどうすればよいかを学んだ。

【平成 19 年度 事業数】

家庭教育推進事業	青少年健全育成事業	成人学習振興事業	高齢者学習振興事業	地域社会教育推進事業	民間指導者育成事業	学習情報提供学習相談事業
3	2	6	1	11	1	4

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/kamo/index.html>

高森市民センター

沿 革

当市民センターは、地域住民の生涯学習活動の中心的施設として平成元年 4 月高森公民館として開館した。その後、機構改革に伴い高森市民センターと改称された。
 この地域は、昭和 48 年以降、民間企業によって開発された地域で、閑静な住宅地のほか高森東公園や高森自然公園などには豊富な緑地が残され、自然と調和した美しい街区が特徴的である。その中で、地域住民の「新しいふるさとづくり」意識の高揚と交流の場として多くの方々に利用されている。
 管内には、21 世紀プラザ研究センター・仙台地域職業訓練センターがある。

平成 19 年度事業実施方針

親しまれ愛される市民センターづくりとして、地域住民の学習意欲に応えるべく事業の提供する。特に、将来を担う子どもたちの安全・安心の取組みについて、地域や学校と連携しながら事業の充実を図る。また、事業をとおして学習活動を展開し、学習した成果をボランティア活動として活用できるよう活力ある地域社会の構築を目指す事業に取り組む。

特色ある事業

<高森地域情報発信！～地域安全マップ～>
 ① **ねらい**
 前年度に引き続き、高森小 4 年生と高森東小 3 年生を対象に実施する「地域安全マップを作ろう！」講座とそれに先立ち実施する「サポーター養成講座」を取材し、ペーパー化することで地域に役立つ情報を提供する。
 ② **対象** 成人
 ③ **コマ数, 参加延べ人数** 10 回 / 41 人
 ④ **概要**
 企画会議 2 回、取材は 4 回、編集会議・校正 4 回を経て、9 月末に『これが高森版安全マップ！』を発行するに至った。発行部数 1200 部。町内回覧・児童に配布・センターまつり展示。宮城大学学生サークルの指導・協力で製作。

<レッツ！クッキング>
 ① **ねらい**
 小学生がメニューを決め、予算の中で食材の買い物から調理までを行うことで、食材への知識と調理への関心を高め、食育につなげる。
 ② **対象** 4 年生以上の小学生
 ③ **コマ数, 参加延べ人数** 2 回 / 33 人
 ④ **概要**
 1 回目：春のイタリアンメニューを決めた。2 回目：各班毎に買い物リストを持って買出し。食材を無駄なく使いピザ・マセドアンサラダ・コンソメスープを子どもの手で調理して、試食・後片付け。子どもたちの達成感を大切にしたい。

【平成 19 年度 事業数】

家庭教育推進事業	青少年健全育成事業	成人学習振興事業	高齢者学習振興事業	地域社会教育推進事業	民間指導者育成事業	学習情報提供学習相談事業
3	4	3	0	9	4	9

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/takamori/index.html>

松陵市民センター

沿 革

泉区北東に位置する、松陵ニュータウンのほぼ中心部に平成2年4月に開館した。松陵・永和台・歩坂町・山の寺・向陽台・明石南の6つの町をエリアとし、県民の森をはじめ、豊かな自然と緑に恵まれている。また付近には、街路樹ロードとスポーツ施設のある松陵公園があり、幅広い年齢層の方が自然を愛し、親しんでいる姿が見られる。
当市民センターは、生涯学習の拠点として、市民に大いに利用され親しまれることを目指して、職員一丸となって事業推進に努力している。

平成19年度事業実施方針

- ・青少年・家庭教育の事業を中心に、現代的課題に対応するため環境・防災等の事業を織りませながら、土日・夜間も開講し、成人(有識者)向けの講座を増やし、学校・各種団体・地域との連携を深め、地域活動の活性化を促進する。
- ・地域・市民センターの身近な課題を把握・分析すると共に、これらの課題を解消すべく、懇談会・市民企画講座を実施し、ニーズに適合した積極的な市民センター運営を図る。

特色ある事業

<第16回松陵ふれあいコンサート>

- ① **ねらい**
小学生から社会人まで地域にかかわりのある人々が、演奏や合唱に参加した鑑賞を通して芸術性を高めるとともに交流を図り、地域を愛する意識を高める機会を提供する。
- ② **対象** どなたでも
- ③ **コマ数, 参加延べ人数** 1回 / 450人
- ④ **概要**
松陵小, 松陵西小, 松陵中の3会場を持回りで開催している。
第1部 吹奏楽小合同 高校生から社会人の演奏
第2部 合唱・手話ソング 小学生から社会人の合唱, 手話ソング
第3部 吹奏楽大合同 小学生から社会人の演奏
参加団体10団体, 出場者約200人

<脳の元気寺子屋>

- ① **ねらい**
脳力アップ・生き生きサポーター養成講座より立ち上がったボランティアの活動を支援し、地域の高齢者に対し認知症予防の為にトレーニングを行なう。
- ② **対象** 60歳以上の方
- ③ **コマ数, 参加延べ人数** 40回 / 374人
- ④ **概要**
川島隆太教授の研究に基づく認知症予防の為に脳トレーニングを行なう。

【平成19年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
2	4	2	2	12	3	3

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/syoryo/index.html>

寺岡市民センター

沿 革

当市民センターは、寺岡小学校と寺岡中学校に隣接した寺岡2丁目に、泉区で9番目の市民センターとして、平成3年4月にオープンした。寺岡中学校区である寺岡・紫山地区は、泉パークタウン西部に位置した閑静な住宅地で、豊かな緑を生かしたゆとりある街づくりが進められている。当市民センターも建物を平屋建てにすることで、街の景観との調和を図っている。恵まれた環境の中、住民の高い学習ニーズに応えるべく事業を展開しており、多くの住民に利用されている。

平成19年度事業実施方針

懇談会や市民企画などで利用者との接点を拡大し地域課題の抽出を行い、事業を展開する。事業内容を的確に伝える広報に努め、参加者の拡大につなげる。事業で学んだ成果を地域に生かせる人材の発掘を行い、地域人材を活用した事業展開を図る。幅広い地域課題に対応した事業に取り組む。地域諸団体との連携強化を図ることにより、事業の質を高める。

特色ある事業

- <紫山・寺岡コンサート>**
- ① **ねらい**
地域の青少年等の日頃の練習の成果を披露する。
音楽を通して青少年と住民の交流を図る。
市民センター、学校、町内会、地域諸団体といった新たな協働組織を設ける。
 - ② **対象** 地域住民
 - ③ **コマ数、参加延べ人数** 1回 /700人
 - ④ **概要**
地域の中、高校、地域で活動しているサークルに加えてゲストを迎え、地域諸団体及びボランティアの力を結集して音楽会を開催した。
- <寺岡山の自然に学ぶ>**
- ① **ねらい**
寺岡の地域資源である寺岡山を四季にわたって散策することで愛着をもちその魅力を知る。自然に親しみそこに生息する草花に興味を持つことにより身近な環境として自然を大事にする心を養う。
 - ② **対象** 地域住民
 - ③ **コマ数、参加延べ人数** 5回 /49人
 - ④ **概要**
地域の自然について四季にわたって観察した。身近な自然を講師が解説を加えることで新しい観点から見つめ直した。

【平成19年度 事業数】

家庭教育推進事業	青少年健全育成事業	成人学習振興事業	高齢者学習振興事業	地域社会教育推進事業	民間指導者育成事業	学習情報提供学習相談事業
2	6	5	2	10	2	6

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/teraoka/index.html>

長命ヶ丘市民センター

沿 革

周囲を団地にかこまれた当市民センターは、平成 5 年 4 月、泉区 10 番目の市民センターとして開館。利用者の 65%が長命ヶ丘地区、25%が近隣地区、残り 10%が他地区からとなっており、圧倒的に地元の利用が多く、地域に根ざした市民センターである。

地域優先の 12 サークルをはじめ、常時 80 のサークルが活動しており、本年度も 47,000 名を超える利用者があった。

施設は既に住民の中に溶け込んでおり、子どもから高齢者まであらゆる層からの支持を得ながら、サークル活動はもとより、地域の生涯学習活動の拠点として、その役割機能は益々重要性を増している。

平成 19 年度事業実施方針

今年度の事業実施にあたっては、継続してきた事業方針を踏まえつつ、さらに「学校や地域との連携を深める事業」や「地域人材をより積極的に活用する事業」を目指すこととする。

また、仙台市の「すこやか子育てプラン」など、行政施策対応事業も充実を図ってゆく。さらに、時代を反映した課題対応事業では、団塊の世代や夫婦単位の事業など、多様化する社会ニーズや、地域ニーズを踏まえたタイムリーな学習機会を提供し、生涯学習の充実を図ってゆく。

特色ある事業

<長命オペレッタを創ろう>

① **ねらい**

各町内会・各種団体が大変活発に地域活動を展開している地域ではあるが、少子高齢化は確実に加速。老人クラブ・子ども会・町内会・地域団体等が協力しひとつのものを創り上げ、顔の見える安心して暮らせる地域づくりを目指す。

② **対象** 長命ヶ丘周辺在住の方

③ **コマ数, 参加延べ人数** 22 回 / 273 人

④ **概要**

住民と一緒に、劇の構成、キャスト、舞台作りなどを分担し、発表会を目指す。演劇のシナリオは、防災面から見た地域の近未来を想定し、回想シーンを交えながら、若者を先頭に手を取り合い、地域の団結に努めるストーリー。公演当日の観客は 250 名。

<子育て講座>

① **ねらい**

当地域の保育所・児童センター・市民センターの 3 館が共催して子育て支援の講座を実施する。それぞれの持ち分を活かし、地域全体として子育ての情報を共有することにより、世代を超えた地域密着型の交流を図る。

② **対象** 未就学児と保護者

③ **コマ数, 参加延べ人数** 7 回 / 309 人

④ **概要**

講座の運営や広報などで、3 館の特性の相乗効果を活かし、「おもちゃ作り」、「保健師さんとの子育てトーク」、「食育コンサート」、「人形劇を鑑賞」、「小正月飾り(だんごさし作り)」などを実施した。

【平成 19 年度 事業数】

家庭教育推進事業	青少年健全育成事業	成人学習振興事業	高齢者学習振興事業	地域社会教育推進事業	民間指導者育成事業	学習情報提供学習相談事業
1	3	7	2	8	1	3

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/chomeigaoka/index.html>

松森市民センター

沿 革

当市民センターは平成12年1月、鶴が丘中学校区施設として泉かむり訪問看護ステーション、コミュニティ防災センターと併設し、泉区内11番目の市民センターとして開館した。

当市民センターの北側に、戦国時代の武将である国分氏が居を構えた松森館跡を仰ぎ、北東には鶴が丘団地、東西に細長く在来の松森地区が集落を形成している。一方南側は、一面広大な田園地帯となっており、七北田川・仙台バイパスまで眺望が広がり、自然環境にも恵まれている。施設の特徴としては市民が気軽に利用できる親子室・娯楽室・図書室、印刷機を備えた市民活動室や広々としたロビーが有り、多くの利用者から喜ばれている。このような特性を生かしながら生涯学習の拠点施設として開かれた親しみのある市民センターを目指している。

平成19年度事業実施方針

地域の活力を生かしながら住民の学習意欲に対応し、また住民が互いに交流しあえるように「和」を大切に事業を推進する。

① 学校や地域団体と連携し地域の自然を見直し発見する事業
 ② 子育て支援、住民の健康を維持するための事業
 ③ 環境問題を考えて学んだことを地域に生かせる事業

特色ある事業

<夏休みチャレンジ講座>

① **ねらい**
 小学生を対象に、夏休みを利用して、学校のカリキュラムの中では体験できないことを提供し、探求する楽しさや、社会問題を子供の目線で考察するための一助とし、より深い人間形成に寄与する。

② **対象** 小学3年生～6年生

③ **コマ数、参加延べ人数** 2回 / 29人

④ **概要**
 2回シリーズの1回目は聴覚しょうがいのある方から音のない世界の話聞き、簡単な手話を教わった。2回目は泉松陵高校科学部の協力の下、科学実験を楽しく紹介してもらった。

<子育て講座>

① **ねらい**
 孤立感を感じながら子育てをしている方が少しでも不安を軽減できるように、乳幼児の育児のノウハウを知るとともに、身の回りや行政のサポートシステムについて学び、地域の子育て支援の一助とする。

② **対象** 未就学児と保護者

③ **コマ数、参加延べ人数** 2回 / 51人

④ **概要**
 2回シリーズの1回目はスキンシップの大切さを聞き、ベビーマッサージの仕方を実習した。2回目は保健師と受講生と一緒に不安や悩みを語り合い解消法を会得し、行政のサポートシステムも学んだ。

【平成19年度 事業数】

家庭教育推進事業	青少年健全育成事業	成人学習振興事業	高齢者学習振興事業	地域社会教育推進事業	民間指導者育成事業	学習情報提供学習相談事業
3	1	5	3	7	4	5

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/matsumori/index.html>

桂市民センター

沿 革

桂市民センターは泉区北西部の緑多い閑静な住宅地に平成13年12月に泉区初の児童センター併設館として開館した。当地区は、一戸建て住宅とマンションが調和・融合した新興住宅地であり、高齢化率は仙台市平均の半分という若く活気にあふれた街である。児童センターとの併設館ということもあって利用者の年齢層は若年から熟年までと幅広い。

これまで様々な年齢層の地域住民と地域団体を意識した事業を展開してきたが、それに加え、地域の諸団体との連携を強めて生涯学習環境の整備、拡充に努め、地域住民の自主的学習意欲に応えられるよう市民参画や学社連携事業に力を入れている。

平成19年度事業実施方針

- ・ 地域課題を明確にして住民参加型の事業を展開し、気軽に学べる機会を提供する
- ・ 学習情報の提供、相談業務の充実に加えて、地域諸団体とのネットワークを構築する。
- ・ 新規ボランティアの育成を行い、学んだ知識を実践できる機会を創出し、支援する。
- ・ 託児付、手話付、夜間、土日開催等、講座の選択肢を広げ、学びの活動の拡大に努める。
- ・ 地域の諸団体や関係機関との連携を密にし、より質の高い事業の実現を図る。

特色ある事業

<市民企画講座「桂ロビーコンサート」>

① ねらい

「桂市民センターロビーコンサート企画会議」の結果、サークルの発表の場の提供と気軽に音楽に親しみたいという地域住民の要望に応える。

② 対象 どなたでも

③ コマ数, 参加延べ人数 5回 / 340人

④ 概要

プロの演奏家によるピアノ独奏、夜間コンサートでフルート合奏、女声コーラス、ハンドベル、室内楽など多様なコンサートを実施し、地域住民との交流を図った。

<桂の森のコンサート>

① ねらい

地域団体との連携により、桂地区における子育て支援の拠点づくりと「子どもが明るく心豊かに育つ街」づくりの一助とする。また、市民センター、児童センター、保育園が協力することでより多くの人々へ広報し、市民センター事業等への理解を促す。

② 対象 どなたでも

③ コマ数, 参加延べ人数 1回 / 300人

④ 概要

コンサート「らーめんちゃんとおキラちゃんコンサート」

「らーめんちゃんとおキラちゃん」の楽しいトークと参加型のコンサートを開催し、親子で楽しいひと時を過ごした。

【平成19年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
4	2	5	3	7	3	4

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/katsura/index.html>

南中山市民センター

沿 革

当市民センターは南中山団地の中心部に位置し、南中山中学校区における南中山、北中山団地の2連合町内会傘下14町内会と西中山町内会総計4,355世帯、地域人口12,990人を対象範囲としている。さらに新規住宅の建設も盛んで人口も増加傾向にある。

当市民センターは、昭和59年にオープンした「泉中高年齢労働者福祉センター(サンライフ泉)」が平成15年3月をもって閉館した後、施設改修を行い、平成15年11月13日に「南中山市民センター」としてリニューアルオープンした。地域には障害者関係教育機関があり、住民や小中学生、大学生などと障害者との交流も活発に行われるなど、地域住民の市民活動も活発で、市民センター活動への期待と関心も大変高い。

平成19年度事業実施方針

1. 地域連携による現代的課題への取り組み
2. 市民ニーズに即応できる学習情報の収集と提供
3. ボランティア活動の支援
4. 市民の意見の取り込み

特色ある事業

<ママのほっとサロン>

① **ねらい**
核家族化が進む中、育児の悩みを誰にも相談できずに悩んでいる母親がたくさんいる。そんな母親の心のケアを地域ぐるみで行うことにより、参加者同士の交流を深め健やかな子育てライフをめざす一助とする。

② **対象** 地域の子育て中のお母さんと乳幼児 20組

③ **コマ数, 参加延べ人数** 10回 / 336人

④ **概要**
笹まきだんご作りやベビーヨガ体験、離乳食・幼児食の調理実習、育児に役立つ講話等を開催して仲間作りの場を提供することにより、参加者同士の交流が深まった。

<お父さんの課外授業>

① **ねらい**
地域のお父さんたちのネットワークを作ることによって男性の積極的な社会参加のきっかけを作るとともに、講座や行事を通してより一層の地域活性化を図る。

② **対象** 南中山中学校区に住む成人男性 20人

③ **コマ数, 参加延べ人数** 5回 / 36人

④ **概要**
うどん作り等、今後の活動に役立つ実技を学ぶ一方、南中山市民センター主催の別講座受講の小学生を指導する等、お父さんたちが楽しみ、顔なじみになりながら実践を重ね、おやじの会設立につなげた。

【平成19年度 事業数】

家庭教育推進事業	青少年健全育成事業	成人学習振興事業	高齢者学習振興事業	地域社会教育推進事業	民間指導者育成事業	学習情報提供学習相談事業
3	5	3	2	10	2	2

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/minaminakayama/index.html>

3. 重点課題事業の実施状況

重点事業とは、市民や団体が、知縁(学習, ボランティア, サークル, 学校, 地域団体等)を活かして、社会とのかかわりをより深めていくことを目的として、市内の全市民センターに義務付けられている事業。平成19年度については、以下(ア)～(エ)の事業が重点事業となっている。

(ア) 学校・地域との連携事業

学校と連携した事業の実施(学社連携・融合事業)

学校等との連携を図りながらさまざまな事業に取り組み、学校教育と社会教育の融合を推進する事業

(例)学校の総合学習・生活科や休日を利用した、環境, 防災, 伝統文化などの学習テーマや体験学習

地域の学習団体と連携した事業の実施

学びのコミュニティ事業の実施

(イ) 市民が学んだ成果を地域社会に生かす事業

ボランティア養成講座の開催

学習成果や自己の経験を生かし積極的に地域社会に関わる人材の育成を図るため、さまざまな生涯学習ボランティアを養成する講座

(例)託児ボランティア, 図書ボランティア, 読み聞かせ, 絵手紙, おもちゃドクター, 歴史ガイドなど。

市民による地域情報の発信

(ウ) 市民参画事業 (97 ページに一覧を掲載)

市民が企画・運営する講座の実施

学習者の主体性を涵養し、積極的に社会に参画する人材の育成を目指した企画など

生涯学習事業の企画の公募

(エ) 懇話会・事業運営懇談会 (106 ページに一覧を掲載)

市民センター事業運営について、地域住民の意見・ニーズを聴取・反映し、地域に根ざし開かれた市民センターを目指すことを目的とした地域懇談会等

【市民企画講座実施状況】

館名	事業区分	事業(講座)名	主な内容	企画／講座	募集形態	回数	参加延人数	参加実人数
青葉区中央(教育)	成	市民企画講座	若者向け市民企画事業として、宮城教育大学の社会教育実習生が講座を企画運営。企画内容は、衣食住に関する知識と実技を学習した。	企画	その他 (実習学生による意欲的な企画提案)	5	25	5
	成	学生生活力向上計画～お前、それ食って生きてんの？！	若者向け市民企画事業として、宮城教育大学の社会教育実習生が講座を企画運営。企画内容は、衣食住に関する知識と実技を学習した。	講座		1	16	16
青葉区中央	民	エコ・クッキング講座企画スタッフ会議	エコ・クッキングを若い世代にも広めたいという市民スタッフが、様々な工夫をしながら講座の企画と運営を行った。	企画	その他 (エコ・クッキング講座の受講生から)	5	9	2
	成	市民企画によるエコ・クッキング講座	環境に配慮した食材選び、調理方法を学び、環境に対する実践に繋げると共に、情報交換などから参加者同士の交流を深めた。	講座		1	19	17
柏木	民	市民企画会議「ウェルカム」	前年度の「ようこそ 仙台へ」の受講生が企画員となり、仙台について知ってもらいたい事等を話し合った。受講生へのアンケートの実施や、調理実習、ふれあい祭りにも参加した。	企画	その他 (前年度受講生)	11	44	9
	成	ようこそ 仙台へ	仙台への転入者を対象に、地元の歴史や文化、ゴミの出し方等生活知識を学習してもらった。また瑞鳳殿、仙台筆筒館の見学等も行なった。	講座		9	80	20
広瀬	民	市民企画講座「再発見！ひろせの底力」	地域住民が地元の「まつり」を通して地域に関心を持つよう「まつりの写真展」を企画した。また、前年度「写真で見るひろせの歴史」の写真を広瀬小学校と宮城総合支所で展示した。	企画	公募	18	291	9
	地	市民企画「まつりの写真展」～カメラを持って“まつり”に行こう！～	住民にとって関心の高い「まつり」を切り口にして地域を考える機会とするため、地域から14箇所の町内会夏祭りや神社や不動尊などのまつり取材記録した。写真は「まつりの写真展」として広瀬市民センターまつりで展示した。更に、市民センター館内と宮城総合支所でパネル展示し、白瀧・黒瀧不動尊を守る地域住民から話を聴いた。	講座		27	148	9
宮城西	成	宮城西探訪く企画	管内の史跡、民族自然など調査探訪し地域の見直しを図る。企画案から始め綿密な打ち合わせ後、検木道・中崎林道・神樹川滝・関山トンネル・駒新道など調査探検が繰り返された	企画	公募	11	89	9
		宮城西探訪く実施		講座		8	77	8
北山	民	シニア世代のプロジェクトK	市民企画講座。地域活性化の一環として北山散歩マップを作成する事に決定し、企画員で作成した。	企画	公募	11	41	4
福沢	地	市民企画講座企画会議「広げよう！地域から」	地域社会に貢献する講座を企画・運営	企画	公募	10	79	4
	地	市民企画講座「食について考えよう！」	歴史ある地域(宮町・福沢町)に伝わる「食」の魅力を若い世代から高齢者まで地域に伝える	講座		3	52	18
旭ヶ丘	青	パフォーマンスライブ企画会議	ジャズダンスやジャグリング・ヒップホップなどで活動している若者層が企画委員になってライブの企画を行った。	企画	選任	2	11	6
	青	パフォーマンスライブin旭ヶ丘	ライブ開催に向けて、打合せや練習・ルハーサルを開催し若者層のセンター事業への関心を高めた。	講座		5	190	38
三本松	民	市民企画講座 来て見てごらん！堤町	「知らなかった台原・もっと知りたい堤町」という地域講座を実施するための企画会議の開催。地域の魅力発見につながる講座を課実施するための会議実施・反省会。	企画	公募	7	14	2
	成	知らなかった台原・もっと知りたい堤町	市民企画講座「来て見てごらん！堤町」により地域の企画員が企画した講座。映像で見る地域の姿、体験してみよう堤人形絵付け、語ろう台原、堤町を通して地域の魅力を再発見した。	講座		3	53	18

片平	成	ふらっと片平地域交流企画会	センター職員と一緒に「祭で広がるみんなの輪」を企画・実施した。参加団体からの要望で、地域のお祭りが終了した10月に「おまつりサミット」を開催し、祭関係者のネットワークを広げた。地域の方からの提案で、盆踊り大会の復活のための実行委員会発起を検討した。	企画	公募	11	54	9
	地	祭で広がるみんなの輪	「旧城下の祭と私たちの暮らし」の講演と子供向けに地域の祭りの実行委員会と子どもたちの太鼓による祭紹介のコーナーを巡るスタンプラリー、スタンプがたまったら、ジュニアリーダとバルーンアートで楽しみました。最後に大人も子どもも体育館で盆踊りを踊った。	講座		1	88	88
大沢	民	市民企画支え合おう「私たちの地域知り隊」	地域住民を中心に、地域の歴史や文化の中にある地域の宝を探し、支えあう町づくりを探る。参加者による企画・運営で、地域への関心を高める地域の宝発見ツアーを開催した。	企画	選任	4	44	22
	民	市民企画検討会「地域交流畑」	地域交流畑に参加している受講生を中心に、大沢の畑を使った子ども参加の収穫祭。ボランティア活動を考える企画会議や地域交流事業を検討することにより、次年度の講座開催に繋がった。	企画	選任	5	70	14
貝ヶ森	地	第4回お父さんのコンサート	お父さんのコンサート実行委員会主催。楽器を演奏する団体・個人を募り、家族や地域の方と演奏・合唱を聞く。	講座		1	116	116
	家	星空映画祭スタッフ会議	地域の小中学生・大学生のスタッフがトワイライトマーケットと映画上映会(屋外・夜間)を企画・運営する。(映画の選出・看板づくり・ポスター、ちらし・パンフレット・チケット作り)ちらし配布・ポスターを掲示依頼。反省会。活動を通して青少年の自主性、協調性、責任感を育て、仲間作りの支援。	企画	公募	13	217	17
	地	星空映画祭	地域の小中学生・大学生のスタッフがトワイライトマーケットと映画上映会(屋外・夜間)を開催し、親子及び地域の世代間交流を図る。トワイライトマーケット(駄菓子・サッカーボール・フリーマーケット等の出店)おたのしみ抽選会、レッツ！ダンス、上映映画「ともだちや」「ライオンを探せ」	講座		1	333	333
	地	国際交流講座	貝ヶ森・国見社会学級生を中心に自分たちのすんでいる地域の特徴、問題点を話し合う。テーマを検討し、自分たちで企画運営を実施。	企画	団体連携	4	20	5
	地	貝ヶ森ふれあい国際交流会	貝ヶ森・国見社会学級生が講師になり、国の身近なお菓子を紹介し合う(道明寺・マラーカオ)お菓子を食べながら、家族、地域の話題を交換	講座		1	12	12
落合	民	「市民センターまつり」高校生企画会	高校生が市民センターまつりに自分たちの企画運営で参加するため、企画会議を行い内容を決定した。	企画	公募	3	18	9
	地	市民センターまつり盛り上げ隊「スタンプラリーでひとまわり」	子どもたちを対象にセンターまつりを会場にスタンプラリーを行い、参加者がまつりの各ブースをまわり参加した。例年になくおおくの小学生が来館し、まつりが盛り上がった。	講座		3	200	191
	地	落合かんきょう研究会	開発の進む落合・栗生地区を取り巻く環境について、情報交換をしながら現況と今後の環境保全について話し合いをした。	企画	団体連携	4	21	10
	地	私たちの“まち”を知る「暮らしを守る身近な環境対策」	センターまつりでエコイベントを行い、使用済の割りばしを回収し、工作材料としてリサイクルに使用した。地域の産業廃棄物処理場について実態や状況を学習し、地域の自然環境学習団体と共にパネルや割りばし工作の作品展示を行った。	講座		4	178	169
中山	地	なかやま DE 音楽会実行委員会	中山で活動する音楽サークル団体が、相互の親睦を図りながら「おかのまち中山 DE ハーモニー」の企画立案、運営のための実行委員会及び反省会を開催した。	企画	公募	4	90	75
	地	なかやま DE 音楽会の開催	市民センターや児童館で活動中の音楽サークルや、地元小学校の音楽クラブやPTAバンドなどの地域での文化活動発表の場としての開催を支援した。	講座		1	381	381
	地	市民企画講座「中山街道を往く」	「平成中山風土記」を読み解きながら、北山と根白石を結ぶ中山街道を歩き、当時の信仰対象物や道路跡などの遺跡をたずね、今住んでいる中山の生い立ちを学んだ。	講座		1	33	33

折立	民	市民企画会「地域を元気にしよう！」	地域のニーズや情報を探りながら、地域を活性化する企画会議を実施。会議を通して、「市民企画」についての理解を図り、地域の問題を共有し、次年度に向けての「企画」を立案した。	企画	公募	5	19	4
吉成	民	市民企画委員会～ゴミの減量、循環型環境の提案～	ゴミの有料化を踏まえ家庭でできるゴミの減量化を地域に提案するため、環境局よりゴミの現状の説明を受け、必要性を地域にいかに関心するかの話し合い、講座を企画した。(企画講座は小さな発見大きな効果)	企画	公募	6	34	6
	地	小さな発見!大きな効果!～循環型社会を目指して～	ゴミの焼却場を見学し、ゴミの現状を知った上で、ドイツ流エコクッキングで生ゴミをなるべく出さない調理法を学び、それでも出てしまう生ゴミでたい肥や石鹸、生活用品を作った。家庭でのエコの取り組み方を知り、リサイクルの必要性への再認識を促した。	講座		4	68	17
木町通	成	市民企画講座	地域ニーズの中から、高齢者対象とした講座の企画から運営まで実施。講座終了後、実際に行なった講座についての評価反省を実施。	企画	公募 (一部選任)	6	28	7
	高	木町通シニア講座	健康で生き生きと生活を送るために、「笑いの効果で健康づくり」「イスに座ってできるストレッチ」など実際に健康づくりについて講話と実技を実施。介護制度の変更についてや、健やかに楽しく生きるために旅行の楽しみ方などの講話を実施。	講座		4	117	29
	民	学生スタッフ企画事業 2007	一昨年度、昨年度から継続の学生スタッフ(宮城教育大学・宮城学院大学・仙台幼児保育専門学校)により、講座を企画、運営した。	企画	選任	12	54	5
	成	一人暮らしの落とし穴～あなたの食事見直してみませんか～	「学生スタッフ企画事業 2007」による企画。若い世代の食生活を考えるワークショップと調理実習の2部構成で実施。	講座		1	16	16
中央 (教育)	成	大学実習生企画講座	社会教育実習生に対して、講座の企画から実施までの過程を体験する場の提供と、実習生の行う企画講座から若者の発想や趣味嗜好等を知り、今後の青少年対象事業の参考にした。19年度は「裁判員制度」の講座を実施した。	講座		2	49	49
中央	民	思春期親学(市民企画会議)	現代の思春期問題についての学習会をし、問題解決のための講座を企画した。	企画	公募	8	31	4
	家	思春期親学(市民企画講座)	思春期・青年期を持つ保護者等を対象に、市民企画委員による「家族の関係性からみた思春期問題」をテーマとした講座を開催した。	講座		2	33	21
高砂	民	思いがけない出会い・ふれあい芸術祭企画会(市民企画)	センター利用サークル、地域人材など多方面に声がけし、ジャンルを超えたコラボレーション、パフォーマンスの可能性を模索。サークル同士の交流・連携も視野に入れながら企画を検討、親しみやすいロビーコンサートを中心にしたイベント立ち上げた。	企画	その他持込 +選任	6	22	4
	地	(市民企画講座)思いがけない出会い・ふれあい・芸術祭	弦楽の生演奏とフラワーアレンジメントのコラボレーションはじめ、センター利用サークルの絵画や手芸作品の展示、アート感覚のお茶席、地域のかたがたによるロビーコンサートなどを開催し、市民センターサークルの活動紹介を兼ねた地域交流の場を提供した。	講座		1	120	120
	民	地元再発見!歩いて知る高砂企画会(市民企画)	かつて高砂市民センターでまとめられた地元学の冊子「高砂をあるく」をテキストに、そこから見えてくる仙台における高砂の歴史的な位置、役割について考査し、「仙台藩・米の道」をテーマにした地域めぐりを検討。資料を集め、聞き取り調査をした上でコース決め、講師の選定をした。	企画	選任	6	12	2
	成	(市民企画講座)地元再発見!歩いて知る高砂～仙台藩「米の道」と高砂～	「仙台藩・米の道と高砂」をテーマに、講話と地域の史跡めぐりを実施。特に歴史愛好家を講師に、蒲生方面では貞山堀、船溜まりあと、福田町方面では船曳堀あとなど米輸送に使われた運河を中心にした史跡めぐりは、高砂の歴史を学ぶだけでなく参加者同士の交流にもなった。	講座		3	74	27
岩切	地	家庭教育地域交流会	地域の六者団体が地域課題を追求し、企画会議をする	企画	団体連携	8	79	99

	家	地域でできるエコ対策	地域が良好な環境で暮らすために、地域環境問題の中でも地域温暖化対策を最重視する。ゴミを出さないエコクッキング、自分で出来る温暖化対策の講話。	講座		2	79	99
	地	すずむしコンサート企画会議	企画会議「役割分担・出演者依頼・広報・ポスターづくり・舞台設営・リハーサル調整」・コンサート反省会	企画	団体連携	5	85	17
	地	すずむしコンサート	すずむしフォーラム「すずむし里づくり実行委員の活動紹介」・コンサート「岩中吹奏楽・二胡・馬頭琴・合唱ほか」	講座		1	93	93
鶴ヶ谷	成	介護予防講座企画委員会	介護予防講座の企画運営について話し合う	企画	公募	2	7	4
	成	市民企画講座「介護予防講座」	介護保険制度、介護予防、認知症などについて学び、あわせて施設訪問をし、実際の入居者の様子や関係者からの話を聞く。	講座		9	145	38
	地	市民企画委員会 みんなで創ろう「鶴ヶ谷音楽会」	地域の方々による音楽会開催に向けての企画等の話し合いなど。	企画	公募	6	30	8
榴ヶ岡	地	市民参画「ともに創ろうまなびの場」	定年後の男性のセカンドライフのあり方を探る。地域活動・ボランティア活動への取り組み、情報交換を行った。	企画	公募	5	24	5
	成	市民企画講座「悠々人生これから～仕事人間を卒業したら」	市民企画「ともに創ろうまなびの場」の提案として開催。男のレストランと題して「実習・初めてのカレーライス、トン汁」。体験談「男の人生二毛作」。話し合い「ボランティア活動への取り組み～無理しないで取り組もう」。最終回として活動の振り返りとして話し合いを行った。	講座		5	31	11
東部	民	のびのび育み応援隊	子育て支援をテーマに、地域の中で何が出来るかを話し合い、子育てマップづくりを企画・実施した。	企画	公募	5	25	5
	民	子育てマップを作ろう	新興住宅地に転入してくる子育て中の親のための地域内情報マップを作成し、配布した。	講座		10	51	10
	民	歌いっばいくらぶ	「歌」「音楽」をテーマに、この地域の住民たちの交流や活性化を考えた講座を企画した。	企画	公募	4	12	4
幸町	民	市民企画講座 委員会	「地域交流」をテーマに地域の特色や問題点をふまえて講座の話し合いを実施、「市民企画講座・みんなでおしゃれ講座」を企画・運営を行った	企画	公募	8	32	5
	地	市民企画講座「みんなでおしゃれ講座」	市民企画委員会で計画され実行した講座。参加者が持っている。洋服などの活用や香りの使い方・髪型等身だしなみについて学び、発表する事で参加者や地域の方と交流を図った。	講座		3	59	19
田子	地	たごを愛する住民塾一市民企画委員会	地域調査を基に地域の特性・課題とその解決へ話し合いを重ね、住民塾企画講座「向こう三軒両隣で防災を！夜の避難所体験」を企画・実施した。	企画	選任	11	126	13
	地	住民塾企画講座「向こう三軒両隣で防災を！夜の避難所体験」	市民企画により、区域内町内会300名を超える参加者を得て、この地域の災害時に住民が協力して行うべき救助・避難・生活支援の自助共助を体験学習した。	講座		1	308	308
福室	民	市民企画会	地域住民が主体的に参加できる場とし、参加者同士で「地域に必要なこと」「地域に求められている」などを話し合い、市民センターと協働して講座を企画した。	企画	公募	12	36	3
	地	市民企画「楽しく防災を学ぼう～災害直後の3日間を乗りきるために～」	「宮城県沖地震」に備えて、講話と非常食の調理実習をとおして、自助の大切さと共助の必要性を学び、地域の中の防災意識を高めた。	講座		2	29	15
若林区中央(教育)	青	中高生企画会議「やってみっぺ」<企画>	区内中高生より10名程度の実行委員を募り、月に1回程度の企画会議を開いた。その中で小中高生を対象とした事業を企画・運営した。	企画	公募	9	47	16
	青	中高生企画会議「やってみっぺ」<講座>		講座		3	106	78
若林区中央	民	女性のためのスタッフ会議	地域課題や生活課題を探り、その解決策になる企画、立案、実施を行った。今回は地域グループの交関の会を年次企画で計画を立てた。	企画	公募	6	6	1
	成	市民企画講座 わかばやし活動交流会	地域で活動している団体・サークルが集い、地域支援の達人から話題提供をもらい、活動の課題や問題についての情報交換と交流を図った。	講座		1	8	8

七郷	民	市民企画講座 七郷学びの応援隊	社会学級、ふれあい学級委員長と地域住民を企画員とした企画会議。年央企画講座『七郷学—七郷だから出来る—エコライフ』の計画立案から実施、受講生募集、当日の運営にいたるまでスタッフとして関わった。	企画	選任・公募	12	71	6
	成	七郷学〜七郷だからできるエコライフ〜	「CO2削減を学ぶ」「手作りの有機肥料」「家庭でできるエコ」「移動学習〜リサイクルの現場を訪ねる」など環境をテーマとした講座	講座		4	149	37
	民	市民企画『GO！七郷かるた会』実行委員会	七郷カルタ作成についての打ち合わせ	企画	公募	8	28	7
	地	七郷カルタを作ろう	七郷の威名等を盛り込んだカルタを作成し、郷土愛を育んだ。	講座		7	29	8
	民	市民企画講座「あなたのステージ」スタッフ員集まれ！	ロビーコンサート実施に向けての企画会として開催計画の作成や出演交渉、広報活動などの打合せを実施した。全体的な企画立案から実施までノウハウを学んだ。	企画	公募	10	60	6
地	あなたのステージ	ロビーの活用法を探るものとして、当市民センターのサークル団体や地域の人材を活用した音楽、すずめ踊り、空手、マジックなど、4回のミニステージを実施した。	講座		4	250	62	
荒町	家	子ども会・IN 荒町	子ども会役員の保護者と児童及びジュニアリーダーによる企画会議を経て講座を企画	企画	公募	9	59	12
六郷	民	六郷畑作り市民企画講座会議<企画> 六郷畑作り市民企画講座会議<講座>	畑づくりスタッフによる企画検討の会議及び野菜作業の中で、農業の大変さを学び食生活を見直す機会となった。	企画 講座	公募	1 11	9 166	9 27
	地	六郷を探る会スタッフ会議	六郷地区を自ら学ぶため地域散策企画を立て、実際に訪れて六郷の良さを再発見。また公開講座に向けて企画会議を設けた。	企画	公募	6	55	18
	地	公開講座「六郷を探る会」	映像とパネルディスカッションで多くの市民が六郷の良さを再認識すると共に、地元民に居住区への愛着を根付かせて次年度の継続学習希望者へと繋げられた。	講座		1	55	55
	地	生きる力・育む力企画委員会	生きる力を地域に育み、顔の見える地域作りを目指して、地域の諸団体と話し合いを重ねて、「ハートフル六郷協議会」が発足した。	企画	団体連携	8	39	6
	地	ハートフル人形で創る ハートフル六郷	地域住民で作成したタオル人形を「老人クラブ連合会」、「スポーツ少年団」と「民生委員」が訪問、「社会福祉協議会」の独居老人配布弁当に添えてと3ルートで配布し、地域のみんなで元氣な六郷にしていきたいと思います。	講座		5	175	175
若林	地	若林コスモスまつり実行委員会	若林コスモスまつりの円滑な準備と運営	企画	団体連携	3	171	60
	地	若林コスモスまつり	河川敷に植えたコスモスをおとした秋の一日を、子どもの広場やコーラスなどの発表を行い地域住民の交流を深めた。	講座		2	1,325	1,325
	民	市民企画会議「パパ・ママ&キッズ応援隊」	地域における子育て中の親子のニーズを直接反映させる講座に向けた話し合いの場を提供できた。	企画	公募	6	43	8
	家	パパ・ママ&キッズに伝えたい正月の風景	パパ・ママ&キッズを対象に正月の習慣や行事の伝承をおこない伝統行事などの理解や交流を深めた。	講座		3	70	15
	家	ママのワクワク・クッキング	親から子へ伝えたい季節の郷土料理を作りながら、季節の素材の大切さや家族の健康を見直す機会を作った。	講座		2	15	9
沖野	地	音楽でふれあいたい会	各音楽サークルの活動の紹介と、コンサートのための企画会議	企画	団体連携	3	11	4
	地	音楽でふれあいコンサート	音楽サークルの活動紹介と実演発表	講座		1	72	72
	民	わたしの寺子屋	市民協働企画。その為の懇談会と会議開催の場	企画	団体連携	7	62	10
地	わたしの寺子屋企画 地域防災公開討論会	地域の防災や家での備えについて「私達にできること」公開討論会	講座		1	90	90	

	地	女たちの寺子屋企画 見たい・知りたい・沖野界限	地域を歩きながら歴史や資源を学習し、マップの作成	講座		6	95	26
	地	沖野ハッピークラブ 企画委員会	地区小学校にある社会学級と連携し開催・沖野ハッピークラブの事業目的及び事業内容を社会学級生と共に考える会議。	企画	団体連携	4	14	4
	地	沖野ハッピークラブ	健康管理, 消費者問題食の問題についてなど	講座		3	44	16
太白区 中央 (教育)	家	社会教育実習生企画 講座	子育て父親講座 妊婦体験, 抱っこ体験, ハンドマッサージ, 講話「男の子育て奮戦記」	講座		1	20	20
	民	市民企画講座公募 事業	市民企画講座公募事業審査会他	企画	懇話会委員	2	20	10
	家	自然食料理と自然 療法	自然食料理とこんにやく療法	講座		5	109	42
	高	イキイキ人生でGO ～100年の路～	講話 健康体操 映画 落語 市民センター作品展 参加他	講座		5	187	58
	民	今様青年座	企画会議	企画	大学での説明会	11	106	12
	民	料理で元気! ～一人暮らしのためのお役立ちクッキング～	一人暮らしのための栄養バランスと経済効率を考えた食事を作る。	講座		1	19	19
	民	Viewsic2007クリスマス コンサート	藍美代子&Friendsジャズバンド J'sChoir ゴスペル	講座		1	121	121
	民	わーい! ふしぎな森で かがやく発見!	科学的な工作や遊びを紹介して, 子ども達と一緒に楽しむ	講座		1	72	72
	民	プロデュースする? ～ 企画カススキルアップ 講座～	大学生や専門学校生を対象, 学園祭やいろいろなイベントの企画や実施について学ぶ	講座		1	17	17
太白区 中央	民	市民企画会議	市民企画講座「裁判員制度を考える」講座実施に向けての企画会議, 反省・評価会議を行った	企画	公募	7	34	7
	成	市民企画講座 「裁判員制度を考える」	裁判員制度についての趣旨, 概要, 選任手続, 職務内容, 参加しやすい環境整備などを市民として考える。また, 敬遠しがちな司法を身近に考える機会とする	講座		3	78	32
中田	家	市民企画講座「おやじと 学校に泊まろう」	小学校の体育館に宿泊し, 災害時の体験を行った	企画	団体連携	1	122	122
	地	お父ちゃんといっしょ!	おやじの会や一般から募集した受講生と子ども達のための講座企画について話し合いを行った。	講座		6	45	8
	地	市民企画講座「いきいき 町づくりを考える」	町づくりNPOの講話を聞き, 中田地域のまちづくりについての視点やそのためには何が必要かについて話し合いを行った。	講座		2	6	4
生出	民	女性のための市民 企画会議	地域内小学校の社会学級と連携し, 地域の特性や人材を生かした講座の企画を行なった。	企画	公募	2	6	3
	地	女性のための市民 企画会議 -地域にある廃材を 生活に活かす-	女性のための市民企画会議で企画した地域の特性や人材を生活に活かす手段について講話を聴き, 剪定された枝や, 蔓を活かす方法を学習した。	講座		1	18	18
西多 賀	民	市民企画会議「ストップ ザ 飲酒運転」	「飲酒運転を考える」をテーマに企画員を募集して講座を企画。講座終了後, 市民センターまつりの来場者に飲酒疑似体験ゴーグルの体験の場を設けるなど	企画	公募	11	44	6
	成	ストップ ザ 飲酒運 転 ～どうする飲酒運 転根絶～	自動車学校にて交通安全再確認や飲酒疑似体験ゴーグルをかけたの歩行などを行った。飲酒運転に関する罰則等についての学習をし, 再認識した	講座		2	22	19
	民	市民企画会議 —男性の視点での 地域活動—	男性の立場で地域の課題を見つけ, 地域活動に取り組むために必要なものは何か, 講座を企画する。	企画	公募	5	14	5
八本 松	民	市民企画会 おいしい 朝ごはん	バランスよくおいしい朝食スタイルを提案する講座を実施するため, 講座の企画・運営を行った。	企画	公募	6	24	6
	家	市民企画講座 おいしい 朝ごはん	バランスガイド等食育に関する学習, 郷土料理をふくむ和食献立と簡単でおいしくバランスがいい献立の調理実習を実施。また, 市民企画会においてまとめた「簡単レシピ」を配布した。	講座		2	16	12

	民	市民企画会 本をあじわおう	大人を読書へ促し、子どもの読書離れをくいとする一助となるような講座を実施するため、講座の企画・運営を行った。	企画	公募	8	31	6
	成	市民企画講座 本をあじわおう	ブックトーク、源氏物語の朗読と解説、大人も楽しめるおはなし会を実施。いろいろな読書の楽しみ方を共有し、読書へのさらなる興味の喚起を促した。	講座		3	78	62
	民	市民企画会 Loveなひろせがわ	広瀬川をテーマにした講座を実施するため、講座の企画・運営を行った。	企画	選任	5	24	6
	地	市民企画講座 Loveなひろせがわー広瀬川の脅威と恵み	広瀬川関連の治水施設(河口付近堤防築堤現場・筑川遊水地・東郡山雨水ポンプ場)と利水施設(三居沢発電所・ニッカ工場等)の見学を実施。広瀬川に対する理解を深めてもらい、また、水環境・自然環境について考える機会を提供した。	講座		2	38	21
	地	社会学級共催企画会	各社会学級との共催で学校・家庭・地域に関する講演会を実施するため、講座の企画・運営を行った。	企画	団体連携	5	15	3
家	社会学級共催事業講演会	野生動物保護センター理事長から傷ついた野生動物の保護など日々の活動についてのお話を伺った。この講話を通して、子ども達に命の大切さを伝える新たな視点を学んだ。	講座		1	47	47	
	一命を大切にすることが育てる							
八木山	民	中高生の企画員募集「若い力で八木山を元気にしよう！」	中高生が「秋の八木山フェスタ」を盛り上げる企画を考えた	企画	公募	3	6	2
	地	中高生企画「いざ勝負！囲碁と将棋でコミュニケーション」(年央事業)	「秋の八木山フェスタ」を会場にして「子どものための囲碁教室」に参加している小中学生が囲碁大会を開催し、異世代間交流をした	講座		1	4	4
山田	地	山田ひとりぐらしおたすけ隊	話し合い 高齢者の住環境を学び、支えるしくみづくりを考える。お助け隊を立ち上げよう	企画	公募	5	39	9
	高	山田ふれあいサロンー和気あいあいー	高齢者が安心して地域で生活できる仕組みづくりの一環として定期的にサロンを開催する。	講座		5	54	54
茂庭台	家	子育て支援講座企画委員会	茂庭台小学校PTA及び地域の児童委員と連携して子育て支援講座の企画を行った。学習テーマ、講師の決定、広報及び講座当日の受付司会などを行った。	企画	団体連携	4	21	6
	家	市民企画「子育て支援講座」	臨床心理士による講話。家族の機能と親の役割・家族間のコミュニケーション(言語と非言語)・子どもが問題を抱えた際の親の対応等を学んだ。	講座		1	35	35
	地	音楽のある街茂庭台ふれあいコンサート企画会	「ふれあいコンサート」の開催に向けて、出演者募集や調整等のコンサート企画及び広報を行った。コンサート当日は会場準備・出演者のサポート・受付・司会などを行った。(企画員は地域住民、音楽サークル会員)	企画	公募	10	45	6
	地	音楽のある街茂庭台ふれあいコンサート	地域住民による企画。住民が気軽に音楽を楽しむ交流できる「ふれあいコンサート」を開催した。(夕涼みコンサート・ロビーコンサート・クリスマスコンサート)	講座		3	130	100
	地	太白山ネットワーク「不思議な山太白山」企画委員会	「不思議な山太白山」講座の企画のための内容検討、講座進行の役割分担。太白山登山の下見、しおりづくり。茂庭台から太白山に登るコースを紹介するマップづくり。マップのための写真撮影、2回の登山。作成したマップについての検討。	企画	その他(選任と公募)	8	50	7
東中田	地	太白山ネットワーク「不思議な山太白山」	1回目は茂庭台市民センターから間近に見える太白山についての、歴史、地質学、ものがたりを講話で学ぶ。2回目は市民センターから太白山まで歩き、途中の生出森八幡神社で講話を聞き、頂上まで登った。	講座		2	44	31
	家	市民企画会議「子育てママが参加したくなる講座」	公募した企画委員が、テーマに沿った内容で講座の企画を行ない、市民企画講座「やってみよう！読み聞かせ」として開催し運営した。	企画	公募	5	40	16
柳生	家	市民企画講座 やってみよう！読み聞かせ	市民企画員が講座を運営。子育て中の母親を対象として、読み聞かせの方法、魅力、効用を講話と実技から学んだ。	講座		3	34	26
	家	お母さんの子育て応援クラブ	企画会① 子育ての悩みについて話しよう 企画会② どんな講座を受けてみたいか考えましょう 企画会③ 実際に講座を企画しよう	企画	団体連携	3	11	4
柳生	家	「市民企画講座・お母さんの子育て応援クラブ」親子でヨガ体験～心と体のバランスを～	自宅でも簡単にリフレッシュできる方法としてヨガ・ストレッチを体験しながら、子育て中の受講生同士が情報を得ながら交流を深めることができました。	講座		2	60	30

富沢	民	市民講座企画会	市民が自ら講座を企画し運営するための企画会議を持ち講座が開催された。	企画	選任	5	31	8
	成	地域歴史講座～ふるさとの遺跡	市民企画講座として地域の特性を捉え、地元を学び発掘の現場見学を入れることで、地域理解に繋がった。	講座		4	154	49
泉区中央(教育)	民	社会教育実生企画講座	「こんな経験あるコール!？」-疑似飲酒ゴーグルで飲酒運転の恐怖を学ぶ-をテーマに飲酒による運動能力への影響を疑似ゴーグルを使用して体験し、飲酒運転が社会に与える影響を考え、交通安全意識の向上をはかる。	講座		1	30	30
	地	市民がつくる魅力ある事業	泉区の素材及び泉区内の地域活性化を企画テーマに、市民に市民センターの事業に参画して頂き、その成果を地域社会に還元し、さらに、今後の自主的活動に役立つ。	企画	-	8	136	136
	地	森杜塾	里山での植生観察会や座学を通して里山保全の大切さについて学習する。	講座		4	54	54
	地	遊びのボランティア	親子が「遊んで学ぶ」というテーマのもと、泉区のフィールドを活用して遊びの大切さを考えネットワークを広げる。	講座		4	77	77
泉区中央	地	学生企画会～地域の安全・安心編～	泉地区に住んでいる大学生が地震災害時に何が必要とされ何が出来るかを模索する。地震対策などを自ら学習し、地域に役立つ事業を企画し実施した。	企画	その他(東北学院大学生へのプレゼン)	20	141	9
	地	「じしん」ってしてる?! -自身の地震への自信-	学生企画会議を経て「生き残る・生き延びる」をテーマに、地域の防災団体や消防署・ガス局・水道局と連携し「地震災害時の対応について」の講座を実施。学生と共に地域住民が防災意識を高めた。	講座		1	87	87
根白石	成	市民企画 里山を考える	里山について気づいたこと、改善した方がいい問題点について話し合い、実際に現地踏査を行った。終了後、今後私たちができることを話し合った。	企画	公募	5	61	12
南光台	民	市民企画講座「ママ企画Ⅱ」	地域に住む子育て中の母親が企画委員となり母親たちの目線で話し合いながら親子で参加できる講座を企画し実施した。	企画	公募	8	50	13
	家	南光台赤ちゃんひろば	人形劇やパネルシアターによるお話会、わらべ歌や手遊びを主に、親子遊びと親子での交流会	講座		4	107	62
	民	市民企画講座 心の健康づくり「ハートタウン」	誰もが安心して暮らせる地域づくり「心の健康づくり」をテーマに集まった人たちが企画委員となり話し合いながら、誰もが参加しやすい講座を企画し実施した。	企画	公募	10	57	8
	地	市民企画講座 心の健康づくり「ハートタウンまつりin南光台」	心をつなげようをテーマに1部は心の講演会、2部は創作活動・昔遊び・茶話会、3部は全員でハートタウンになるための講話実施	講座		1	62	62
黒松	地	ネットワークづくりIN黒松 企画会議	八乙女中学校区の2つの社会学級で、地域課題について話し合い、「食卓からの子育て」を企画・実施した。	企画	選任	4	8	2
	家	食卓からの子育て～食を通して見えてくるもの～	食が子どもにもたらす影響について、具体的なデータをもとに学んだ。	講座		1	25	25
	民	市民企画講座～さあ!地域デビュー～	参加者の知識や経験を生かした事業企画・実施に向けて話し合い、終了後のふり返しを行った。	企画	公募	3	6	2
	地	「さあ!地域デビュー」市民企画講座～やさしいパソコン～	パソコンの基本操作を学び、初歩的な文章の作成を学んだ。	講座		3	41	14
将監	地	市民企画講座・地域を見つめよう	将監地域の人材登録簿の作成と、地域情報など、こらからの地域のありかたについて話し合いをもった。	企画	公募	7	15	2
加茂	成	市民企画講座 in 加茂～企画編～	市民企画講座 in 加茂の実践編開催へ向けて企画立案、現地下見などを行い、実践に移せるようにした。	企画	公募	5	39	8
	成	市民企画講座 in 加茂～実践編～	企画に基づき1回目は古内志摩の墓・賀茂神社、2回目は丸田沢堤の白鳥・住宅型老人ホームの見学を通して身近なところに素晴らしい地域があることを再確認し、地元への理解と愛着がさらに深まり企画のねらいが達成できた。	講座		3	69	46

高森	民	小学生 夏休みおぼけ屋敷隊	小学生とジュニアリーダーがおぼけ屋敷を企画し、おぼけ屋敷の準備・会場設営をすすめ、当日は、おどかさ役割を果たした。終了後には、会場を片付け、反省会を実施。	企画	公募	4	36	9
	家	季節のお話会	春は、幼児と親が読み聞かせと春さがしの散歩。夏は、小学生が素話とおぼけ屋敷体験。秋は、幼児と親・小学生が、パンづくりとおはなしを結びつけた。冬は、幼児と親が人形劇で物語に親しんだ。	講座		1	30	30
	民	ボランティア企画会議「伝統行事を楽しもう」	ボランティアの人が、地域の子ども達に伝統行事・文化を伝えるために講座の企画会議と運営を行った。	企画	団体連携	4	31	15
	青	伝統行事を楽しもう	ボランティア企画会議による企画運営講座。季節ごとに仙台ミニ七夕づくり、竹を材料に作って遊ぶ昔遊び体験、小正月のだんごさし、鬼のお面を作って豆まき会を実施。	講座		5	58	58
	地	高森福祉高齢者地域交流大会企画会議	ボランティアもくれんと共催で、地域内の高齢者と住民との健康福祉活動に寄与する高森福祉高齢者地域交流大会を企画・実施	企画	団体連携	3	16	14
地	高森福祉高齢者地域交流大会	高森社会福祉協議会のボランティアもくれんととの企画・運営で実施。小学生から高齢者、ろう者の参加があり、仙台弁での昔語りで心温まる時間を共有した。	講座		1	150	150	
松陵	地	松陵ふれあいコンサート実行委員会	ふれあいコンサートの企画・運営を検討	企画	選任	5	40	11
	地	松陵ふれあいコンサート	小学生から社会人までの地域の人々が参加した吹奏楽コンサート	講座		1	450	450
	民	市民企画会議	地域課題のアセスメントとプランニング	企画	公募	5	16	4
高	高齢者の日々の安全・安心、そして生きがいと助け合い	高齢者世帯の日常生活で困った時の対処法、人生の生きがいと助け合い、災害発生時に安全を確保するには	講座		3	81	30	
寺岡	民	ママの企画会議	地域に住む若い母親たちが、自ら地域に対する課題を見つけ、課題解決に向けての事業企画運営会議を重ね、実践につなげた。	企画	公募	6	28	6
	地	地域の達人に学ぶ～ガーデニングで地域交流～	ママの企画会議で企画員が発案し、庭づくりをテーマに地域交流の場を設けた。運営も企画員の方たちが行った。	講座		1	30	30
長命ヶ丘	成	長命集楽 -市民企画講座-	行って・見て・知る仙台を市民企画で企画立案した講座の開催し来年から始まる裁判員制度に合わせ裁判を傍聴し解説を交えながら裁判所をより身近なものにする。	講座		3	36	23
松森	民	みんなで一緒に地元学<企画>	市民参画の手法を学びながら、地域を理解し地域づくりに生かす	企画	団体 連携	11	53	9
	民	みんなで一緒に地元学<講座>		講座		1	49	49
桂	成	桂市民センター講座企画会議	地域住民の自由な意見の交換をすると同時に、ニーズを探り、手作りのおもちゃを作る講座を企画した。	企画	公募	4	25	7
	高	子どもと遊ぶためのおもちゃづくり	市民参画で企画され、竹を材料とした手づくりおもちゃ(竹トンボ・竹馬・水鉄砲・竹笛)を作った。	講座		4	32	8
	民	桂ロビーコンサート企画会議	市民参画事業で年間5回の桂ロビーコンサートを企画した。	企画	公募	3	9	4
	地	桂ロビーコンサート	仙台国際音楽コンクール出場者によるピアノコンサート・木管によるトワイライトコンサート・女声コーラス・ハンドベル・室内楽コンサートを開催した。	講座		5	340	340
	民	熟男集まれ！おもしろイベント企画会議	市民参画事業で、住民同士の交流の場として地域活性化につながる「みんな集まれ！秋の味覚まつり」を企画した。	企画	公募	5	23	7
地	みんな集まれ！秋の味覚祭り	市民参画から企画され、地域活性化・世代間交流を目的に火起こし・秋刀魚焼き・かまど作り・竹細工・ジャグリングなどを開催した。	講座		1	75	75	
南中山	地	学生市民企画検討会	これから社会に出る学生が、市民のニーズや地域社会の課題を把握・検討し、解決に向けた講座の企画を行うため、町内会会長や市民センター館長による講話や地域取材、「みやぎ夢燈花」など地域市民活動への参加を通し学習した。	企画	選任	11	101	11

地	学生市民企画講座 南中山まるごと紹介	学生市民企画検討会企画による地域紹介として、南中山地区の「新春の集い」の冒頭で、企画委員が作成した地域の団体や行事などを紹介するスライドショーを公開した。他地域の方々にも見てもらえたことで、南中山地域に対する理解を深め、PRにも貢献できた。	講座		1	170	170
	南中山文化祭こども企画～こちらイベント企画室～企画	南中山文化祭でのイベント企画検討会を行い、地域の文化祭に子どものためのフリーマーケットを出すことで参加した。小中学生が地域の一員としての自覚が深まり、異年齢・世代間交流の場となった。	企画	公募	4	25	7
青	南中山文化祭こども企画～こちらイベント企画室～実施		講座		1	-	-
合 計					858	13,425	8,226

【事業運営懇談会実施状況】

館名	事業(講座)名	主な内容	実施期日 期間	回数	参加 延人数	参加 人数
青葉区 中央	青中懇話会	周辺の企業・団体、学校・幼稚園及びセンター利用者によって構成されるパートナーグループ事業を実施した。	6/14～ 2/15	4	36	14
柏木	柏木市民センタ ー懇談会	地域住民や町内会長、児童館館長に対し、市民センターの事業内容について説明した。また、今後の事業についての意見等を広く伺った。	2/1	1	6	6
広瀬	ひろせ懇談会	センター事業について意見を聞き事業企画・運営に反映させるため、町内会会長、小学校PTA会会長、社会学級委員長、地域団体代表、サークル代表等と懇談会を行った。	8/25	1	9	9
北山	懇談会 館長と 語ろう!	1回目は、町内会・子ども会・社会学級等を対象。2回目は、センター利用団体・地域住民対象に地域のニーズや問題・課題について、又、生涯学習への要望等の意見交換。	6/9, 11/24	2	15	15
福沢	福沢市民センタ ー懇談会	地域の学習ニーズの把握に努め、事業に反映させるとともに地域課題の解決や行政への理解を深める	5/12	1	5	5
旭ヶ丘	旭ヶ丘市民セン ター懇談会	センターの事業や利用状況について説明をし理解や協力を得た。また地域課題や人材等について情報交換し共有した。	5/24～ 2/23	4	27	10
三本松	三本松懇談会	支援地域を3ブロック(小学校区)に分けて実施、センターの実情の報告と各町内会の取り組みや課題等を出し合い懇談形式、課題としては高齢者の防犯対策、地震時の町内会の対応のあり方等について事例を発表。センターへの理解の促進と課題について各町内会の取り組みが明確になった。	11/6～ 11/15	3	14	5
片平	片平市民センタ ー懇談会	町内会、小学校、消防署など地域に関わる人たちが一同に会し、片平地区の地域課題について意見交換を行った。	9/12	1	14	14
大沢	大沢懇話会	地域課題、資源、学習要望等について参加者同士で意見を交換し、地域状況の変化や情報を共有して地域に密着した特性のある事業の展開に繋げていく。	6/26～ 3/27	4	19	5
水の森	水の森懇話会	市民センターの事業について、近隣の方がたのご意見を多方面からの切り口で伺った。センターのための前向きな意見で盛り上がりを見せた。	5/9～ 11/28	2	19	9
貝ヶ森	懇談会	地域の方、市民センター利用者の声を聞いて学習ニーズの把握に努めるとともに地域課題の解決に向けて市民センター事業に対する市民参画を推進。①19年度主催事業について説明②19年度終了した主催事業について報告、20年度主催事業について説明、意見を聞く。	11/4～ 3/13	2	29	15
落合	落合地域懇話 会	町内会の代表や地域住民・若い子育て世代と市民センターの事業や役割、地域の現状とニーズなどについて話し合い、情報交換をした。	5/26～ 2/16	2	24	12
中山	中山地域懇談 会	中山学区内及び川平学区内の各町内会の代表者や、老人クラブ連合会、地区社協など各種地域団体の代表者に集まって頂き、地域の課題・状況・資源・学習要望などについて意見交換をした。	12月～1 月	3	18	18
折立	懇話会意見交 換会	市民センター事業についての説明、地域の課題等について意見交換会を実施。地域が抱える問題等、活発な情報交換を通して、次年度の事業展開へと繋がった。	7/1～ 2/22	3	27	9
吉成	地域懇談会	吉成地区、南吉成地区の市民センター利用者との懇談会。市民センターへの要望やあり方などの意見を聞き、課題を探る手段の一つとした。	6/21・ 6/30 2/9	3	16	16
吉成	地域団体交流 会	吉成地域にて活動する地域団体(32団体)が一堂に会して活動の紹介を行った。2回目は、来年度に向けての交流会実施の意見交換を行い、地域連携を充実するきっかけとした。	6/27・ 9/26	2	40	40
木町通	木町通市民セン ター懇談会	地域課題や事業運営に関する情報交換の実施。	10/24・ 11/21 2/28	3	28	13

中央	中央市民センター事業運営懇談会	地域のニーズや声を市民センターの事業運営に反映するため、地域団体等や市民センターを利用しているサークル団体と事業運営懇談会を行った。	11/6～11/17	2	30	30
高砂	「あなたのまちと市民センター」懇話会	岡田小学校区、高砂小学校区、鶴巻小学校区、中野小学校区の4ヶ所で、町内会をはじめとする地域の方々に呼びかけて懇話会を開催し、市民センターへの理解を深めてもらうと共に、地域ニーズを探り、地域人材情報の収集などを図った。	6/1～7/7	4	45	45
岩切	いわきり井戸端会議	地域の住民と地域のニーズや課題を話し合う	5/9～7/11	3	11	11
鶴ヶ谷	鶴ヶ谷市民センター地域懇談会	利用者・地域住民との情報・意見交換等を聞き「地域に根ざした市民センター」の推進と地域住民が自主的に生涯学習活動を行えるよう支援した。	6/2～11/10	2	62	35
榴ヶ岡	榴ヶ岡市民センター懇談会	地域や市民センターの現状・課題についてのオリエンテーションのち、地域づくりや学習の取り組みについての意見交換を行った。参加者は地域の方、サークル代表者などで構成。	10/18～12/6	2	12	6
東部	東部市民センター懇談会	地域団体代表者から、センター事業への要望や地域課題を聞き、話し合った。	4/20～11/17	6	37	20
幸町	地域を語る懇談会	地域の諸団体やサークルと情報交換・意見交換し、KJ法を用いて地域の現状や課題・ニーズを洗い出した	1/19～2/2	3	17	8
田子	田子市民センター懇談会	地域メンバーによる懇談会の実施は地域の身近な情報の提供があり、又、市民センターへの要望意見などが率直に聞くことができた。	8/23～1/27	2	23	13
福室	地域懇談会	地域の課題やニーズを的確に把握し、事業に反映させるため、地域内の諸団体と意見交換の場を持った。	4月21日	1	14	14
若林区中央	若林区中央市民センター事業懇談会 「田んぼっ区懇話会」	若林区中央市民センター事業について話し合う委員を区民から募集し、市民センター職員との懇談会を開催した。	5/26～3/8	4	32	10
七郷	七郷市民センター運営協力委員会	年1回総会実施。市民センター事業報告と市民まつりへの協力依頼のための会議。	6/8～11/25	3	54	18
	ふれあい懇話会	地域に根ざした市民センターを目指し、対象地区に出向き地元住民との懇談会を行った。講座内容、地域の人材などの情報交換を行い共有化を図った。	2/19	1	19	19
荒町	荒町事業運営懇談会	荒町市民センターの事業運営についての説明と協力要請、感想・意見・提言・要望の聴取	5/11～11/27	4	45	13
六郷	市民センター事業運営懇談会	市民センター利用者を募り意見を聴取すると共に、今後の市民センター事業に反映する懇談会を開催した。	9/22～12/15	2	10	10
若林	若林地域懇談会	活発な忌憚のない議論をした。次年度事業の広報にも繋げた。	9/21～2/22	3	26	10
沖野	懇話会	市民センター事業の説明と意見交換会	6/23、11/17	2	14	8
太白区中央	魅力アップ懇話会	市民の意見や提言を市民センター運営や事業に反映させるための話し合いを行った。	6/30～1/10	3	23	11
中田	地域懇談会	地域にとっての市民センターのあり方や期待するものについて意見交換を行った	12/19～3/15	2	17	10
生出	「運営協力委員会」支援	生出市民センター運営協力委員会が企画する地域事業の運営について支援。	通年	11	509	509
	生出市民センター地域懇談会	市民センターの施設利用における地域優先の考え方、運用方法について意見交換を行なった。	2/16	1	5	5
西多賀	地域を結ぶ懇話会	地域の課題や資源についての情報交換や、市民センターの生涯学習についての要望や感想を伺い、事業の参考にした	7/27、9/26	2	13	8
八本松	市民懇談会	町内会長や民生委員等の方々と地域ニーズ、課題について話し合いの場を設け、市民センターの役割についての課題を見出した。	1/24	1	10	10
八木山	地域懇話会	地域住民の特性と多様なニーズを把握し、質の高い事業の展開を目指して開催した	9/8	1	7	7
山田	山田地域懇話会	地域の課題や情報等を共有するための話し合い	12/14	1	8	8
茂庭台	事業運営懇談会	19年度事業方針・内容を説明し、20年度事業への要望・検討を行った。中でも地域防災への取り組みで、防災講座の企画につながった	7/27・2/29	2	9	5
東中田	地域懇話会	町内会、学校、団体などの代表者が会し、地域の課題や情報を話し合い、その一部を次年度の事業企画に役立てた。	11/13～11/17	2	12	6
柳生	地域懇話会	管内小中学校、各施設、町内会の関係者と柳生市民センター、児童館、西中田児童館職員との情報交換を実施し地域の実情など共有し連携を尚一層深めることができた。	6/10～3/13	3	32	10
富沢	地域懇話会	地域課題や地域資源の情報を捉えるための懇話会を実施しセンター事業の理解が高められた	7/14～3/8	3	24	8
泉区中央(教育)	パートナーグループ座談会	市民による生涯学習の実施を円滑に推進するため、市民センター事業等に広く意見を聞く機会を泉区内に居住する市民に提供し、以って生涯学習の活性化を図る。	5/23～3/12	6	54	45

泉区 中央 (教育 以外)	泉中央懇話会	地域の学習課題や地域課題について意見交換や提言等をいただき市民センター学習や施設管理へ生かしていった。また、委員と様々な情報交換の場となった。	6/7~2/7	3	18	6
根白石	地域懇談会	町内会会長、副会長に集ってもらい、センターへの要望や地域の問題点などを話し合った。また、センターの講座へ地域の方々が積極的に参加くださるよう依頼した。実施予定の講座の説明と質疑応答等、活発に意見が交わされた。	7/19~ 3/11	3	29	9
	地域の健康を考える企画会	町内会の方々の健康について話し合いを持った。健康についての関心が高いことから講座をしたいとの意見が多く出された。	8/30~ 9/30	2	5	5
南光台	市民センター懇談会	センター利用者や地域の方々の意見及び情報交換を行い市民センターの事業運営に反映させる	5/11~ 2/1	6	56	11
黒松	黒松ほっとステーション懇談会	地域の課題や学習要望等の意見交換をした。	11/16~ 1/29	2	9	5
将監	「活力ある地域社会」の模索について(団塊世代向け講座)	団塊世代の方が今できる事は何かを話し合った。地域を活性化する手法を討議した。	7/14~ 2/6	5	20	4
加茂	加茂地域各種団体懇談会	地域各種団体の事業内容の紹介を切り口として情報交換や市民センターへの意見要望についての懇談を行い地域課題等の理解が深まった。	12/11	1	19	19
	加茂ロビー井戸端会議	地域住民やサークル活動を行っている方などと気軽に話し合いができる場を設け、事業運営に対する意見・要望を聞いた。	5/31~ 1/29	3	16	16
高森	子育て支援事業に関する地域懇談会	1回目は高森東地区の社協・児童センター・子育てボランティア、2回目は高森社協・児童センター、3回目はサーラ保育園と子育て支援事業に関する情報交換を行った。	5/2~ 1/17	3	23	23
松陵	地域懇談会	地域課題と市民センター講座への要望を幅広く討論	4/19~ 9/6	2	4	2
寺岡	団塊世代の懇談会	団塊世代の住民の方々から、市民センター事業に対する意見を伺った。	11/17~ 12/1	3	11	4
長命ヶ丘	中学生親子のための講演会を考える	いじめや不登校など子どもの取り巻く問題が多い現代社会の中で、自分自身を見つめるテーマで中学校、父母教師会、青少年健全育成会、市民センターの4者で懇談会を開き考える。	5/29~ 7/10	3	12	5
	子育て女性の懇談会	小学校・中学校生を持つ子育て中のお母さんによる学習課題と生活課題である公共マナー、中学校の統廃合、いじめ、PTA活動のなやみ	7/12~ 9/13	3	12	4
松森	松森鶴が丘懇談会	利用団体から意見・要望を聞き取り団体の活性化を図り、地域を元気にする	11/8~ 12/4	3	31	10
桂	子育てママの懇談会	子育てに関する不安や疑問、問題点など自由に話し合った。	6/5~ 6/29	3	29	12
南中山	地域懇談会	地域の学習課題についての意見交換や情報交換	7/20~ 2/29	2	6	3
合 計				170	1,820	1,265